

特殊鋼

2017
Vol.66 No.5

9

The Special Steel

特集／会員流通各社の紹介



特殊鋼

| 9 |

目次

2017

【編集委員】

委員長	井上幸一郎 (大同特殊鋼)
委員	杉本 淳 (愛知製鋼)
〃	増田 智一 (神戸製鋼所)
〃	西森 博 (山陽特殊製鋼)
〃	浜田 貴成 (新日鐵住金)
〃	宮崎 貴大 (大同特殊鋼)
〃	赤見 大樹 (日新製鋼)
〃	正能 久晴 (日本金属)
〃	殿村 剛志 (日本高周波鋼業)
〃	戸塚 覚 (日本冶金工業)
〃	安藤 光浩 (日立金属)
〃	福田 方勝 (三菱製鋼)
〃	阿部 泰 (青山特殊鋼)
〃	池田 正秋 (伊藤忠丸紅特殊鋼)
〃	岡崎誠一郎 (UEX)
〃	池田 祐司 (三興鋼材)
〃	金原 茂 (竹内ハガネ商行)
〃	渡辺 豊文 (中川特殊鋼)
〃	平井 義人 (平井)

【特集／会員流通各社の紹介】

I. まえがき

.....	(一社)特殊鋼倶楽部	井上幸一郎	2
-------	------------	-------	---

愛鋼(株).....	3
青山特殊鋼(株).....	4
浅井産業(株).....	5
(株)UEX.....	6
碓井鋼材(株).....	7
カネヒラ鉄鋼(株).....	8
兼松トレーディング(株).....	9
(株)カムス.....	10
川本鋼材(株).....	11
佐久間特殊鋼(株).....	12
三和特殊鋼(株).....	13
大同DMソリューション(株).....	14
(株)竹内ハガネ商行.....	15
辰巳屋興業(株).....	16
(株)鐵鋼社.....	17
中川特殊鋼(株).....	18
名古屋特殊鋼(株).....	19
ノボル鋼鉄(株).....	20
野村鋼機(株).....	21
藤田商事(株).....	22
古池鋼業(株).....	23

(株)堀田ハガネ	24
(株)メタルワン特殊鋼	25

“特集” 編集後記	(株)神戸製鋼所 増田 智一	41
-----------	----------------	----

●一人一題：「高みを目指して…」	愛知製鋼(株) 佐藤 公彦	1
------------------	---------------	---

■業界の動き	26
--------	----

愛鋼、本社工場の機能、衣浦に集約 新工場を今秋着工、19年稼働へ
 浅井産業、日・タイで切断加工強化 特殊鋼棒鋼など、投資9億円
 サハシ特殊鋼、焼却設備で新事業 設計～メンテナンスを一貫で
 大同DMソリューション、インドネシアで金型加工
 国内外で表面処理設備増強
 野村鋼機、大型金型材加工で新工場 総投資13億円、産機・航空機向け、他

▲特殊鋼統計資料	29
----------	----

特殊鋼熱間圧延鋼材の鋼種別生産の推移
 特殊鋼鋼材の鋼種別販売（商社＋問屋）の推移（同業者＋消費者向け）
 特殊鋼熱間圧延鋼材の鋼種別メーカー在庫の推移
 特殊鋼鋼材の流通在庫の推移（商社＋問屋）
 特殊鋼鋼材の輸出入推移、他

★倶楽部だより（平成29年6月1日～7月31日）	33
--------------------------	----

☆特殊鋼倶楽部の動き

「特殊鋼業界及び関係他業界等におけるBCP対応に関する調査報告書」 の説明会開催	35
「安全保障貿易管理」説明会開催	36
定例講演会「自動車産業をめぐる最近のトピックス」の開催	37
「欧米の特殊鋼需給動向調査報告書」の説明会開催	38

☆一般社団法人特殊鋼倶楽部 会員会社一覧	40
----------------------	----

一人一題

「高みを目指して…」

愛知製鋼(株)
参与 東京支店長

さとう きみ ひと
佐藤 公彦



私は学生時代、山登りに熱中していました。私の属していた団体は、登山道が整備された‘普通の山’にも登りましたが、自分たちでルートを決めて道なき道を登る…いわゆる‘藪漕ぎ登山’をあるべき姿(?)と考える、当時でもあまり「流行らない」山登りをしていました。

道なき道を登るには、回りの地形と地形図を見比べて自分の現在位置を割り出しながらコンパスで進む方向を見定め、計画したルートを通ります。実際に目の前にある立体的な尾根や谷を平面的な地形図におとしこんでいく、あるいはその逆をする、いわゆる「読図」ということができないとこの山登りは成立しません。

そうして見定めたルートは道なき道であり、一面に生い茂る「根曲り竹（小指の太さくらいの笹?）」を掻き分けかき分け、高度を上げていくことになりますが、これは相当体力を消耗する登り方であり、掻き分け役の先頭を次々に交替して進むという、パーティ全員の総合力が試されます。この際、先頭に立つ者が注意しなくてはいけないのは、立ちはだかる根曲り竹の藪に圧倒され、ついつい藪の薄い楽な方向に進んでルートを外してしまうことがないようにすることです。

山登りの話が長くなりましたが、ここで私たちが従事している特殊鋼業界について思うところを少し書かせていただこうと思います。

特殊鋼業界はこれまで自動車をはじめとするユーザの高度化するニーズをキャッチアップする先進的な技術開発やたゆまぬ生産性向上の積み重ねなどにより、高品質な特殊鋼を提供し続けることで発展をしてきたと思っています。ただ、これまでの発展も決して平坦な道のりではなく、需要家の海外展開や海外特殊鋼メーカーの台頭、円高や諸資源の高騰、マルチマテリアル化といわれる非鉄鋼材料との競合など多くの山や谷を、この業界に携わる諸先輩の知恵と努力で乗り越えてきた結果としてあるものと言えます。

我々はこれら諸先輩の努力を引き継いで、特殊鋼業界の更なる発展を図って行くことが求められていると考えていますが、今後想定される変化は自動車のEV化の進展に代表されるように、これまで以上に大きなものになると考えられています。

この大きな変化に対応していくには、とりまく環境を的確に捉え、現在置かれた立ち位置を明確にした上で、今まで培って来たものをベースにしながら方向性を見極め、柔軟な発想と果敢な実行力を持って道を切り開いて進んで行くことが不可欠になっていくように思われます。

藪漕ぎ登山のように的確に地形を読みルートを見定め、密集する藪に怯むことなく一步一步着実に全員で高みを目指し登り続けて行く…これができれば今後の特殊鋼業界の発展につながっていくと思います。

私も特殊鋼業界というパーティの一員として、高みを目指して微力ながら努力をしていきたいと思う今日この頃です。



会員流通各社の紹介

I. まえがき

今回の特集号では通常の特集とは趣を変え、会員流通各社の紹介を企画として取り上げた。通常の特集では技術的な内容が多く、会員企業の中でもメーカーの製品や各種技術が主体となることが多いが、今回の特集では特殊鋼業界に欠くことができない存在である流通各社に焦点を当てている。過去30年間の特殊鋼の特集記事を振り返ると2016年1月号で「特殊鋼メーカー・流通のグローバル展開」で会員メーカーおよび会員流通各社のグローバル展開状況について特集している。一方、国内の状況に目を向けると1996年1月号に「会員販売業者の現状」との特集があり、主に国内流通を取り扱った特集としては前回からすでに21年が経過していることになる。この間リーマンショックやその後の過度な円高による国内製造業の海外移転など、様々な外部環境変化の中で会員流通各社の営業拠点や保有設備の状態も大きく変化していると思われる。このような背景から今回は国内の会員流通各社に注目した特集を企画した。会員流通各社には特殊鋼誌上で自社のプロモ-

ーションを実施してもらうことを前提とし、会員各社に平等に機会を与えるため、事前アンケートを実施した。その結果、100社中59社から回答をいただき23社から自社紹介の原稿を寄稿いただけることとなった。また、1996年に企画された前回の特集では各社半ページの掲載であったが、今回は十分とは言えないものの各社の特徴をより詳しく記述してもらえるように各社1ページに掲載枠を拡大した。執筆にご協力いただいた会員各社にはこの場を借りてお礼を申し上げる。特殊鋼誌の読者には大きく分けて3つのカテゴリーがあり、特殊鋼のメーカーおよび流通。特殊鋼を使用するメーカー、すなわち特殊鋼のユーザー。最後は大学や研究機関などである。本特集は特殊鋼メーカーおよび流通の読者にとってはすでに良く知った内容かもしれないが、特殊鋼ユーザーや大学や研究機関読者にとって特殊鋼流通企業のハンドブック的役割を果たすものとして、手元において活用いただければ幸いである。

〔(一社) 特殊鋼倶楽部 いのうえ こういちろう
編集委員会委員長 井上 幸一郎〕



愛鋼株式会社

代 表 者：鈴木 鉄男

資 本 金：2億2,500万円

従 業 員 数：192名

本社所在地：

愛知県東海市南柴田町ハノ割138番地 5

TEL：052-601-1111

FAX：052-601-3253

HP：<http://www.aiko-inc.co.jp/>

◇ 企業理念

われわれは企業活動を通じ、自己実現をはたし、
社会に貢献する

◇ 事業拠点

東京営業所

東京都千代田区丸の内一丁目 8 番地 1 号

丸の内トラストタワーN館

TEL：03-3211-3533（FAX兼）

浜松営業所

静岡県浜松市中区板屋町111番地 2

浜松アクトタワー14F

TEL：053-456-6910

本社工場

愛知県東海市南柴田町ハノ割138番地 5

TEL：052-601-1117 FAX：052-604-6571

上野工場

愛知県東海市名和町南埋田66番地 2

TEL：052-603-1300 FAX：052-604-2434

衣浦工場

愛知県半田市潮干町 1 番地31

TEL：0569-20-2403 FAX：0569-20-2418

東海工場

愛知県東海市荒尾町ワノ割 1 番地

TEL：052-603-9349 FAX：052-603-9395

◇ 事業内容

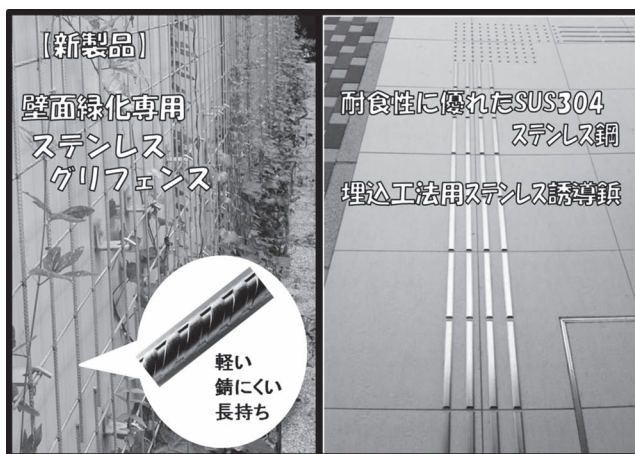
特殊鋼（ステンレス鋼含む）、普通鋼鋼材、鍛造品、機械加工品の販売、切断、孔明、引抜、圧延および研磨製品の販売

◇ 主な仕入先メーカー

愛知製鋼株式会社、株式会社神戸製鋼所、山陽特殊製鋼株式会社、JFEスチール株式会社、新関西製鐵株式会社、新日鐵住金株式会社、株式会社中山製鋼所

◇ 特 色

愛知製鋼グループの一員として、加工機能と商社機能を併せ持つ。幅広い情報と企業ネットワークをバックに切断・孔明をはじめとする引抜、機械加工、ステンレス冷間圧延、みがきといった優れた加工技術でジャストインタイムを心がけております。愛知製鋼とユーザーを結ぶ「架け橋」としての役割を果たす一方で、ユーザーの製造・加工における原価低減、工程省略といった要望に対応しております。



青山特殊鋼株式会社

会 社 名：青山特殊鋼株式会社
(Aoyama Special Steel Co., Ltd.)
社 長 名：代表取締役社長 青山 信一
資 本 金：3億1千万円
従 業 員 数：266名(2017年3月末現在)
本社所在地：〒104-8262 東京都中央区湊1-1-12
HSB鐵砲洲5階
(2018年6月以降)：〒104-8262 東京都中央区新
川2-9-11 PMO八丁堀新川
ホームページ：<http://www.aoyamasteel.co.jp>
連 絡 先：TEL 03-3552-5251
FAX 03-3553-4379
拠点(支店)：大阪、静岡
(営業所)：浦安、太田、東北、新潟、東大阪、
兵庫、浜松、相模、名古屋、豊橋、
北陸
(工場等)：静岡熱処理工場・加工工場
(海 外)：中国(香港、上海、佛山)
ストックヤード：浦安センター、第2浦安倉庫、
桑名物流センター、東北、新潟、相
模、静岡、浜松、豊橋、東大阪、兵庫

取 扱 商 品：【特殊鋼】工具鋼、構造用鋼、軸受鋼、
ステンレス鋼、耐熱鋼・耐熱合金
【各種加工製品等】焼結部品、ペー
ン、ロストワックス、タービンブ
レード、ターゲット材等
【建材】ハイベース、ステンレス建材
【磁性・電子材料】ネオジム焼結磁
石、フェライト磁石、ナノ結晶軟磁
性材料、ソフトフェライト、エレクト
ロニクス材料、マグネットワイヤ
【電磁気応用品】各種磁石組立品、リ
ニアモータ、リニアモータステ
ージ、ボイスコイルモータ、複写機プ
リンティングシステム
【制御機器】アクチュエータ製品、ド
ライバ製品、CANネットワーク製

品、産業ネットワーク製品、サー
キットブレーカ製品

加工サービス：熱処理、表面処理、素材切断、金
属加工

主要取扱メーカー：日立金属、JFEスチール、新
日鐵住金、山陽特殊製鋼、大同特殊
鋼、住友金属鋁山、センクシア、
NEOMAXエンジニアリング、日立
化成、日立メタルプレジジョン、日
立金属ネオマテリアル、日立金属
MMCスーパーアロイ、トピー工業、
アラヤ特殊金属、東北特殊鋼、モリ
工業、Otter Controls Ltd、Analogic
Corporation、HMS Industrial Networks
AB、Dunkermotoren GmbH

特色(沿革)：1914年(大正3年)神戸市において
創業

1956年(昭和31年)現在の青山特殊
鋼株式会社を設立

(理念)：創業期より「良い素材から良い製品」
を実践し、お客様に高品質の適材を
迅速にお届けすることで「良い製品」
づくりを支援させていただくことを
使命として来ました。

(事業展開)：お客様の事業や時代背景、業界動向に
よって「良い製品づくり」に必要な
素材は変わります。当社は多様化・
複雑化するニーズにお応えするため取
扱い品目を拡大し、事業拠人も国内だ
けではなく、お客様の海外事業の拡大
に合わせて海外拠点及び海外取引も拡
大しています。また全国各地のストッ
クヤードで切断加工を実施し、無駄の
ないデリバリー体制を構築するととも
に、静岡支店では熱処理・加工工場を
設置し、材料提供・加工・熱処理を
一貫して行い「品質第一」「短納期」
の技術サービスを提供しています。

未来に向かって：昨年は会社設立60周年を迎えま
した。記念事業として本社建替え事
業を推進し、次の100年を切り開く
礎とする所存です。

● 浅井産業(株)

「特殊鋼の浅井」として、創業95年。

企業情報

代 表 者：取締役社長 増井 平

資 本 金：7億円

売 上 高：525億円（2016年度）

従 業 員 数：116名（2017年3月末現在）

本社所在地：東京都港区港南2丁目13番34号
NSS-IIビル3階

電話 03-5783-5361

FAX 03-3450-9583

事 業 拠 点：東京本社、大阪支社、名古屋支社、
衣浦サービスセンター、長野出張所

グループ会社：浅井ショーワ(株)、浅井フォージ(株)、
(株)碧南プロセッシングセンター、
ASAI THAI CO., LTD、
PT. ASAI INDONESIA、
PT. ASP INDONESIA

ホームページアドレス：<http://www.asai.co.jp/>

<主な取引先>

■販売先

トヨタ自動車、豊田自動織機、三五、ソミック
石川、デンソー、アイシン精機、ジェイテクト、
ヤマハ発動機、ファナック など

■仕入先

神戸製鋼所、日本高周波鋼業、高周波铸造、三
菱製鋼、山陽特殊製鋼、三菱マテリアル など

<取扱商品>

特殊鋼：機械構造用炭素鋼、構造用合金鋼、工
具鋼、マンガン鋼、ボロン鋼、快削鋼、
軸受鋼

アルミ・銅：アルミ合金、銅合金、チタン

二次製品：金型、コーティング、射出成形機

機械：コンプレッサー、各種環境機器

<取扱形状>

黒皮、CHQワイヤー、磨棒鋼、異型線、異型
棒、ピーリング、鋼板、鋼管、研磨品、切断品、
鍛造スラグ、切断スラグ、熱間鍛造品、冷間鍛
造品、機械加工品、各種熱処理品 など

企業理念

浅井産業グループは、

新しい価値を生み出し、社会に貢献します。

》》挑戦 変化に対応し、顧客ニーズに応える
「挑戦」を続けます。

》》誠実 「誠実」に、取引先の期待と信頼に
応えます。

》》共生 社会と「共生」し、社員の幸せと取
引先の満足を大切にします。

特 色 ～創業100年とその先に向けて～

当社は1922年の創業以来、「特殊鋼の浅井」とし
て、日本の基幹産業を支える多くの企業に信頼を
頂いております。今後も、社会や環境の変化に対
応したサービスを展開することに加え、社内公募
により新たに制定された企業理念に基づき、浅井
産業グループ全体で新しい価値を創造し続けます。

■メーカー機能を持ったグループ会社の拡充

国内には、機械加工の浅井ショーワ、型打ち鍛
造の浅井フォージ、精密切断の碧南プロセッシン
グセンターを持ち、タイ・インドネシアには、物
流機能を備えた現地法人を設立。これらグループ
会社を活用し、浅井産業グループ全体でのソ
リューションを提供します。

■鉄鋼以外の分野へも積極展開

特殊鋼分野はもちろんのこと、時代の変化に伴
い、アルミ・銅事業やお客様の生産性向上に繋がる
モールド部品事業、コーティング事業、機械・
環境機器事業にも注力しています。



☆衣浦サービスセンター☆
(保管能力：棒鋼9,500t／線材6,600t)

代表取締役社長：岸本 則之

資本金：15億1,215万円

従業員数：276名（2017年3月31日現在）

本社所在地：〒140-8630 東京都品川区東品川
2-2-24 天王洲セントラルタワー
5F

HPアドレス：<http://www.uex-ltd.co.jp/>

TEL：03-5460-6500（代表）

FAX：03-5460-6409

◇ 主な取扱い商品

ステンレス銅板、ステンレス銅管、ステンレス
条鋼・建材、チタン、等

◇ 主な仕入先

<メーカー>新日鐵住金ステンレス、新日鐵住金、
大同特殊鋼、山陽特殊製鋼、愛知製鋼
<商社>住商銅管、三井物産スチール、メタル
ワン、NSステンレス

◇ 事業所

支店：東北・北陸・大阪・九州

営業所：東海・名古屋

配送センター：東京・東北・北陸・大阪・名古屋・九州

スチールサービスセンター：三島・伊勢原

◇ 特色

当社は1955年の設立以来、半世紀以上にわたって「お客さまのニーズにこたえたい」、「ステンレス・チタンを通して社会の役に立ちたい」という理念のもとに努力を積み重ねて参りました。1990年には業界で初めて株式を公開し、鉄鋼流通業界のリーディングカンパニーとしての地位を築いてきたと自負しております。

当社は、東北・北陸・大阪・九州の4つの支店と2つの営業所、さらに6カ所の配送センターと物流を専門とする子会社を有しており、全国的な販売体制を整備しております。さらに三島・伊勢原には大型のスチールサービスセンターを設け、在庫・加工・配送の要として機能を充実させております。近年は高付加価値化にも注力するため最新鋭の設備を導入し、多様なニーズに応じております。三島・伊勢原の両センターはともに国際標準の品質保証規格「ISO9001：2008」を取得しております。

みなさまへの感謝とともに、お客さまにご満足いただける商品やサービスの提供を通じて、今後も社会に貢献して参ります。



碓井鋼材(株)

碓井鋼材株式会社

◇ 特 色

当社は、千葉県浦安市に本社、茨城県土浦市、静岡県沼津市に支店、群馬県太田市に営業所があります。本社を支店として関東を扇形に拠点を配して事業展開しております。

機械構造用炭素鋼、合金鋼等を主力に、各拠点で在庫し、切断加工、また必要に応じた加工を受けての販売をしております。

各拠点での地域特性やニーズを的確に捉えての密着した商売と、あらゆる要望に応えられるようなサービス提供の実現を目指し、各拠点のネットワークを最大限に活かしながらお客様と共に成長を目指す会社です。

◇ 取扱い商品

特殊鋼：機械構造用炭素鋼（S15C～S55C）、合金鋼（SCM415H～SCM440H）、非調質鋼、調質合金鋼（SCM440QT）、軸受鋼、工具鋼等

普通鋼：一般構造用鋼棒鋼（SS400）

鍛鍛鋼品：鍛鉄棒、各種鍛鋼品

磨棒鋼他

◇ 主な仕入先

メーカ－：新日鐵住金、合同製鐵、三菱製鋼、山陽特殊製鋼、朝日工業、共英製鋼、中山製鋼所、韓国鉄鋼

取引先商社：三井物産、三井物産スチール、日鉄住金物産、住友商事

◇ 資本金・従業員数・本社所在地

資本金：3,000万円

従業員数：50名

本社所在地：千葉県浦安市港27

TEL 047-353-8686

FAX 047-353-8653

倉庫建坪：5,300m²

クレーン：10t 1基／5t 3基／3t 1基

切断機：アマダ製自動帯鋸切断機 6台

KASTO製自動帯鋸切断機 2台

◇ 事業所

・茨城支店 茨城県土浦市北神立町1-10

TEL 029-834-7631

FAX 029-834-7632

倉庫建坪：891m²

クレーン：4.8t 1基／2.8t 1基／2.5t 1基

切断機：ニコテック製自動帯鋸切断機 4台

TSUNE製自動丸鋸切断機 1台

・静岡支店 静岡県沼津市松長480

TEL 055-968-5388

FAX 055-968-5377

倉庫建坪：793m²

クレーン：2.8t 4基

切断機：アマダ製自動帯鋸切断機 6台

・群馬営業所 群馬県太田市東新町653

TEL 0276-20-5665

FAX 0276-20-5688

倉庫建坪：914m²

クレーン：2.8t 2基

切断機：アマダ製自動帯鋸切断機 6台

アマダ製自動丸鋸切断機 1台

 カネヒラ鉄鋼(株)

カネヒラ鉄鋼株式会社
[KANEHIRA STEEL CO., LTD.]

代表取締役社長：嶋岡 廣
資本金：1億円
従業員数：80人（17年6月末時点）

沿革

- 1839年（天保10年）創業。
- 1869年（明治2年）関西で初めて欧州から洋鉄を輸入。
- 1933年（昭和8年）山陽製鉄所（現、山陽特殊製鋼(株)）を設立。
- 1947年（昭和22年）山陽製鋼(株)（現、山陽特殊製鋼(株)）の経営権を譲渡。
- 1970年（昭和45年）社名をカネヒラ鉄鋼(株)に改称。
物流拠点として大阪南港に鋼材センターが完成。
- 1974年（昭和49年）東京営業所を開設。
- 1999年（平成11年）福山営業所を開設。（事務所、倉庫、切断機）
- 2003年（平成15年）タイ国バンコックに現地法人設立。（事務所、倉庫、切断機）
- 2012年（平成24年）中国広東省仏山市に現地法人を設立。（事務所）
静岡営業所を開設。（事務所、倉庫、切断機）

〔拠点〕

大阪本社：〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1丁目10番7号
TEL 06-6532-1122 FAX 06-6532-1198
東京支店：〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-11-7 MC八丁堀ビル8階
TEL 03-5542-5670 FAX 03-5542-5671
福山営業所：〒720-0202 広島県福山市鞆町後地26番地85
TEL 084-982-3257 FAX 084-983-5256

静岡営業所：〒417-0033 静岡県富士市島田町1-1
TEL 0545-55-1616 FAX 0545-53-2566
南港鋼材センター：〒559-0032 大阪府大阪市住之江区南港南1丁目2番194号
TEL 06-6612-1671 FAX 06-6612-1678
(株)ケイエムティー：〒559-0032 大阪府大阪市住之江区南港南1丁目2番194号
TEL 06-6612-3031 FAX 06-6612-3033
カネヒラ運輸(株)：〒559-0032 大阪府大阪市住之江区南港南1丁目2番194号
TEL 06-6532-1122 FAX 06-6532-1198
タイ：118/6 Moo 9 Leabklongsongnam, Suvarnabhumi Rd. Bangpla, Bangplee Samutprakan 10540
TEL 66-2-136-2791
中国：中国広東省佛山市禅城区汾江中路121号17楼I房
TEL 86-757-8236-9308

〔扱い商品〕

- ・特殊鋼：機械構造用炭素鋼、構造用合金鋼、軸受鋼、ステンレス鋼、工具鋼、粗角、鋳鍛鋼 他
- ・普通鋼：棒鋼、線材、薄板、中厚板 他
- ・非鉄金属：チタン、アルミ
- ・鉄鋼二次製品：鋁螺製品、型打・自由鍛造製品、冷間圧造製品、みがき棒鋼、なまし鉄線、ペタンク製品
- ・電炉部材

〔主な仕入先〕

- ・(株)神戸製鋼所、日本高周波鋼業(株)、新日鐵住金(株)、JFEスチール(株)、山陽特殊製鋼(株)、合同製鐵(株)、(株)中山製鋼所、三菱製鋼(株)、朝日工業(株)、王子製鉄(株)、新関西製鐵(株)、共栄製鋼(株)、 他

〔特色等〕

- ・鉄鋼専門商社として当社営業マンは、170余年の歴史に裏打ちされた信用とプライドを大切に、各仕入先様ごとに異なる商品の競争優位を正しく見極めながら、お客様の真のニーズにお答えして行きます。



兼松トレーディング(株)

兼松トレーディング株式会社

◇ 特 色

当社は、1970年に、国内鉄鋼販売の強化のため、総合商社兼松(株)の100%子会社として誕生いたしました。

1999年には、大阪の兼松鉄鋼販売(株)を統合し、更に、2006年には、特殊鋼を中心とした貿易業務に46年の実績がある日鋼貿易(株)を統合し、新生「兼松トレーディング」としてスタートいたしました。

当社の業務範囲は、長年の取扱い実績がある普通鋼材の国内販売にとどまらず、鉄鋼原料・特殊鋼の国内販売、輸出入取引、及び三国間貿易と、多岐にわたります。

また、2001年には、ISO9001（品質マネジメントシステム）を取得し、更なる品質向上、お取引先様にご満足いただけるサービスを提供出来るよう、日々努めております。

当社は、これからも透明性の高い経営に取り組み、お取引先様をはじめ、広く社会にご評価いただける企業を目指してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

◇ 主な取扱い製品

1) 鋼材・土木資材・建築資材

鋼板、棒鋼、線材、形鋼、軽量形鋼・鋼管、鋼管杭、鋼矢板、床板、二次・加工製品

2) ステンレス・チタン・特殊鋼

ステンレス鋼板、ステンレス・高合金・チタン条鋼・鋼管、工具鋼・軸受鋼・炭素鋼条鋼・線材

3) 製鉄・製鋼原料

製鉄原料：石灰石、コークス、ミルスケール、鉄鉱石、マンガン鉱石、原料炭、ペレット、ドロマイト

製鋼原料：鉄スクラップ、銑鉄、人造黒鉛電極、耐火煉瓦、ソルトロン

4) 鋳鍛造品・機械部品

鋳造品、鍛造品、製鉄用ロール、製鉄用機械および部品、自動車、農機、建設機械部品、スプール

◇ 主な仕入先

新日鐵住金、JFEスチール、JFE条鋼、日鐵住金建材、向山工場、共英製鋼、岸和田製鋼、東京鉄鋼、朝日工業、中山製鋼所、日新製鋼、東京製鋼、丸一鋼管、合同製鐵、日本冶金工業、新日鐵住金ステンレス、愛知製鋼、神戸製鋼所、大同特殊鋼、山陽特殊製鋼、コベルコ鋼管、虹技、日立金属、シントク、新日本工機

◇ 資本金・従業員数・本社所在地

代表取締役社長：江見^{えみ} 智^{とも}維^{ふさ}

資 本 金：260百万円

従 業 員 数：90名

本社所在地：〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町19-5 akebono日本橋ビル6F
TEL：03-5860-2200
FAX：03-3808-2323

◇ 主な事業所

支 社：大阪

支 店：北海道

取締役社長 久留島 靖章
資本金 3億円 従業員数 185名
URL <http://www.koshuha.co.jp/kams/>

○拠点

本社／北関東営業所／関東テクノセンター
〒373-0014 群馬県太田市植木野町328

【鋼材】TEL 0276-40-5005

FAX 0276-40-5008

【熱処理】TEL 0276-20-5120

FAX 0276-37-7115

中部営業所／中部テクノセンター

〒489-0071 愛知県瀬戸市曉町9番地

TEL 0561-97-8431

FAX 0561-97-8433

北陸営業所／北陸テクノセンター／物流センター

〒934-0031 富山県射水市奈呉の江9-15

TEL 0766-30-2160

FAX 0766-30-2151

横浜営業所／横浜工場

〒236-0002 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町16-8

TEL 045-776-1170

FAX 045-776-0304

厚木営業所／厚木工場

〒243-0033 神奈川県厚木市温水208

TEL 046-247-2231

FAX 046-247-9962

長野営業所／長野工場

〒394-0083 長野県岡谷市長地柴宮2-5-7

TEL 0266-28-4580

FAX 0266-28-7244

大阪営業所／西宮工場

〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜2-4-2

TEL 0798-26-5785

FAX 0798-26-5819

東北出張所

〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町3-10
6F A-2

TEL 022-797-1891

FAX 022-266-3919

埼玉出張所

〒343-0845 埼玉県越谷市南越谷3-22-8-104

TEL 048-992-6066

FAX 048-992-6068

広島出張所

〒732-0052 広島県広島市東区光町2-9-14-203

TEL 082-568-8789

FAX 082-568-8779

○主な取扱い商品

特殊鋼：各種工具鋼、構造用鋼等

熱処理（工具鋼）

表面処理（PVD）

○主な仕入先

日本高周波鋼業(株)

○加工業務

切断、面削加工、MC加工、熱処理、表面処理

○特色

カムス（KAMS: Koshuha All Metal Service）は日本高周波鋼業(株)で製造されたマイクロファイン工具鋼の機械加工、熱処理、表面処理までの一貫したサービス供給体制を整えています。

高度化するご要望にお応えするため、流通機能の重要性はますます高まっています。

全国7ヶ所の工場と10ヶ所の営業拠点ネットワークにより、スピーディーなサービスを提供致します。

豊富な在庫を持つとともに、最新鋭の設備により様々な形状・寸法及び、熱処理・表面処理に対応致します。

お客様とともに、当社はさらなる成長を目指していきます。



川本鋼材株式会社

代表取締役 川本 芳裕
資本金 3,000万円
従業員数 70名

本社所在地

〒490-1214 愛知県あま市北茱三本柿151-1
TEL 052-446-1911 Fax 052-446-1912
ホームページURL
<http://www.kawamoto-kozai.co.jp>

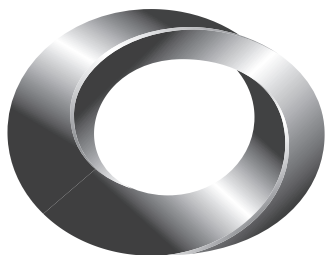
三河営業所

〒445-0032 愛知県西尾市平原町前山22-11
TEL 0563-55-5011 Fax 0563-55-5017



ISO9001 認証取得

その答え、無限大。



一つの問いに対して、柔らかな発想からの多様な答え……
川本鋼材ではいつでも、無限大の答えをご用意しています。

川本鋼材株式会社

本社／特殊鋼センター
〒490-1214 愛知県あま市北茱三本柿151-1
TEL: 052-446-1911 FAX: 052-446-1912

三河営業所
〒445-0032 愛知県西尾市平原町前山22-11
TEL: 0563-55-5011 FAX: 0563-55-5017

浜松営業所
〒430-0814 静岡県浜松市南区恩地町252
TEL: 053-425-4151 FAX: 053-426-3070

浜松営業所

〒430-0814 静岡県浜松市南区恩地町252
TEL 053-425-4151 Fax 053-426-3070

沿革 昭和20年 故川本平雄が名古屋市中区橘にて個人で創業。
昭和21年 会社設立。
昭和22年 株式会社に改組株式会社川本産業。
昭和26年 浜松営業所開設（浜松市新町）。
昭和32年 愛知製鋼株式会社より指定問屋に選定される。
昭和33年 商号変更 川本鋼材株式会社。
昭和36年 笠寺営業所開設（名古屋市南区）。
昭和45年 浜松営業所増設移転（所在地 浜松市南区恩地町）。
昭和59年 安城営業所開設（安城市和泉町）。
昭和61年 資本金3,000万円に増資。
昭和63年 代表取締役に川本芳裕就任。
平成5年 株式会社堀田ハガネへ資本参加。
平成10年 特殊鋼センター開設
平成15年 ISO9001：2000認証取得。
平成24年 三河営業所開設 安城営業所閉鎖。

取引メーカー 愛知製鋼株式会社、JFEスチール株式会社、山陽特殊製鋼株式会社、新日鉄住金株式会社、三菱製鋼株式会社、虹技

取扱商品 機械構造用炭素鋼、機械構造用合金鋼、快削鋼、工具鋼、ステンレス鋼、デンスパー、鋳鋼、産業機械



佐久間特殊鋼(株)

佐久間特殊鋼株式会社

【企業情報】

代表取締役執行役員社長 佐久間 貞介
資本金 3億6,000万円
社員数 145名(2016年12月)
本社所在地 愛知県名古屋市長区浦里5-250
連絡先 052-623-5551(代表)
HP <http://www.sakuma-ss.co.jp/>
事業所 本社・東海支店・西尾支店(愛知県)、三重支店(三重県)、浜松支店(静岡県)、関東支店(茨城県)

グループ会社

国内 (株)メタルクリエイト(三重県)
(株)鋼商会(愛知県)
(株)ハマノ(茨城県)
海外 SAKUMA (THAILAND) CO., LTD.
佐久間特殊鋼商貿(常州)有限公司
PT. SAKUMA INDONESIA
海外合弁会社
NIHON PARTS (THAILAND) CO., LTD.
TOSHIMA (THAILAND) CO., LTD.
MIE SEIKI (THAILAND) CO., LTD.
MICROTECHNO VIETNAM CO., LTD.

【取扱商品】

<材料>

粉末材料(磁性粉末、ステンレス粉末、高合金粉末)などの機能材料/構造用鋼(炭素鋼、合金鋼)/工具鋼/軸受鋼/ステンレス鋼/特殊ステンレス鋼(耐熱用、耐食用、高強度用)/

高合金材料/チタン/ターゲット材料(Cr、Ti、W、Ti-Al、CrNなど)他、多鋼種の取り扱いがございます。

<部品>

磁石(重希土類フリー、圧縮成型、射出成型、一体成型)/冷間鍛造部品/精密切削部品/冷間プレス部品など。

**最適材料と各加工を組み合わせて、
最適なモノづくりをご提案致します。**

【特色】

「すべてはあなたのために」

当社は特殊鋼専門商社として起業し、今年で67年目を迎えます。この言葉は、その間変わらぬ思いとして持ち続けた気持ち(企業理念)です。

ここで言う「あなた」とは、商品やサービスを購入頂いているお客様だけでなく、仕入先様も含めた当社に関わって頂いている全ての方々を指しております。

材料~加工までを語れる技術営業商社

「すべてはあなたのために」という企業理念を实践する為には、お客様や仕入先様の仕事内容をしっかりと理解し、安心と信頼をお届けする事が必要です。その為当社では、商社でありながら、商品の品質を管理する部門(品質保証グループ)、材料技術的なサポートを行う部門(技術サービスグループ)によるフォロー体制を徹底しております。近年のモノづくりに関して言及すると、日本の製造力を更に高めていくためには、素材/加工/製品の垣根を越えて、より良い製品を作る為に一丸となって知恵を出していく必要があります。材料、部品を共に扱っている専門商社として、お客様、仕入先様とともに最適なモノづくりの一端を担える営業を实践して参ります。



● 三和特殊鋼(株)

三和特殊鋼株式会社

三和特殊鋼株式会社

[SANWA SPECIAL STEEL CO., LTD.]

(〒571-0015 大阪府門真市三ツ島5-13-17

TEL 072-883-1881 FAX 072-883-6739)

(ホームページURL <http://www.sanwa-steel.co.jp/>)

代表取締役社長 かつの 勝野 しげる 茂

資本金 4,700万円

従業員数 57名

○拠 点

本 社

〒571-0015 大阪府門真市三ツ島5-13-17

TEL 072-883-1881 FAX 072-883-6739

東田町倉庫

〒571-0034 大阪府門真市東田町23-25

TEL 06-6916-7225 FAX 06-6916-7226

名古屋支店

〒470-1202 愛知県豊田市渡刈町3-139-4

TEL 0565-41-7812 FAX 0565-41-7813

○取扱い商品 (主な取扱い鋼種)

特殊鋼：熱間工具鋼、冷間工具鋼、高速度工具鋼、粉末高速度工具鋼、プラスチック金型用鋼、機械構造用炭素鋼、構造用合金鋼、ステンレス鋼、粉末製品・磨棒鋼・溶断品・鍛鍛鋼品・精密鍛造品・非鉄金属

○主な仕入先メーカー

山陽特殊製鋼 日立金属 不二越 日本高周波鋼業 大同特殊鋼 新日鐵住金 合同製鐵

○加工業務等

【切断加工】 帯鋸盤切断 (MAX φ800)、丸鋸盤切断 (MAX φ100)

【機械加工】 NC旋盤による旋削加工・穿孔加工 (MAX φ420)、NC複合機による旋削加工・ミーリング加工

【熱処理・仕上加工等】 協力工場との提携により、各種熱処理・各種表面処理、大型旋盤加工、フライス加工、マシニング加工、研磨加工、放電加工、ワイヤーカット加工、完成金型、完成工具等

○特 色

【沿革】	1959年 4 月	大阪市南区において三和特殊鋼創業
	1959年 7 月	資本金300万円で三和特殊鋼株式会社設立
	1966年 4 月	大阪市城東区に社屋完成、移転
	1972年 1 月	現、門真市に新社屋・新倉庫完成、移転
	1993年 4 月	山陽特殊製鋼大阪工具鋼センターとなる
	1999年12月	資本金4,700万円に増資
	2007年 2 月	機械加工工場 (メカテック) 開設
	2008年12月	環境マネジメントシステム KESステップ2 認証取得
	2010年 1 月	中期3ヵ年経営計画スタート
	2015年 5 月	東田町倉庫開設
	2016年 8 月	名古屋支店開設

【理念等】

当社は、昭和34年の創業以来、半世紀以上もの間、特殊鋼専門商社として、常に時代を読み、スチールアドバイザーとしての人材の育成を図ることで、世の中の『ものづくり企業』のお客様に、よりご満足いただけるよう努力してまいりました。

当社の強みは、「在庫力」「加工力」「機動力」であり、名古屋以西の工具鋼流通では屈指の存在であります。

汎用鋼種の在庫量も豊富ですが、各特殊鋼メーカーのブランド鋼、特に山陽特殊製鋼製 (QCM8、QDH、QDN、QDX-HARMOTEX、SNCM447) および不二越製 (DURO-FZ) の在庫量は、国内随一を自負しております。

また、わが国の製造業がグローバルに展開している時代に対応し、海外輸出入体制を敷き、お客様により付加価値の高い特殊鋼を提供することによって、ものづくりにおける「ベストパートナー」を目指しています。



社内機械加工工場 (メカテック) の一部



大同DMソリューション(株)

大同DMソリューション株式会社

[Daido Die & Mold Steel Solutions. co., Ltd.]
(ホームページURL <http://www.daidodms.co.jp/>)

代表取締役 つだ たかよし 津田 孝良
資本金 435百万円
従業員数 592人 (2017年3月末)

【沿革】

1971年7月 新ミツボシ工業(株)設立
1976年9月 日本特殊鋼(株)の合併に伴い
大同特殊鋼(株)の関連会社となる
1991年7月 大同テクノメタル(株)と改称
1996年4月 (株)大同ピーディーエムと大同テクノメタルが合併
大同アミスター(株)となる
2012年7月 大同アミスター(株)、大同マテックス(株)、石原鋼鉄(株)の3社が合併、大同DMソリューション(株)となる

【営業品目】

- 1、工具鋼、ステンレス鋼、構造用鋼、その他特殊鋼、鋼材の加工および販売
- 2、金型及び金型部品の製造および販売
- 3、鋼材および非鉄金属並びにその加工品の輸入業務
- 4、鋼材、非鉄金属並びにその加工品の輸出入業務
- 5、治具および工具の製造および販売
- 6、工作機械、鍛圧機械、および金属加工機械並びにその付属部品の製造および販売
- 7、鋳鍛鋼品の製造、加工および販売

【経営理念】

3つの笑顔

鋼に命を吹き込む誇りを持って、『お客様の笑顔』『社会の笑顔』『社員の笑顔』を目指し、金型産業の発展に貢献します

【本社及び事業所】

[国内] (国内：営業所15拠点、工場8拠点)
大阪本社

〒574-0062 大阪府大東市氷野3-152
(TEL) 072-871-8601
(FAX) 072-871-9580

東京本社

〒105-0014 東京都港区芝2-29-14
一星芝公園ビルディング5階
(TEL) 03-5765-6401
(FAX) 03-5765-6310

仙台

〒989-1305 宮城県柴田郡村田町大字村田字小池336-2

相模

〒252-0012 神奈川県座間市広野台2-2-5

静岡

〒437-0227 静岡県周知郡森町橋29-1

名古屋

〒474-0001 愛知県大府市北崎町遠山210

他

[海外] (海外：事業所11拠点)

シンガポール、タイ、ベトナム、マレーシア、台湾、中国、インドネシア、メキシコ、インド他

【主な仕入先】

大同特殊鋼(株)、大同興業(株)、(株)竹内ハガネ商行

【加工業務】

熱処理、表面処理、6面フライス、EDSダイセット 他

【特色】

大同特殊鋼(株)の連結子会社で金属加工の総合エンジニアリング会社

《総合力》

金型の“国内唯一のワンストップメーカー”であり、素材、熱処理、加工のトータル保障で対応します



株竹内ハガネ商行

株式会社 竹内ハガネ商行

＜企業情報＞：

社 長 名：竹内 誠二

資 本 金：5,000万円 従 業 員 数：112名

本社所在地：〒143-0023 東京都大田区山王
2-3-10 大森三菱ビル 6 階

ホームページアドレス：http://www.takenet.co.jp

連 絡 先：電話 03-3773-1211

FAX 03-3776-8145

＜事業拠点＞：関東、大阪、名古屋、仙台

グループ会社：新潟竹内ハガネ、長野竹内ハガネ

＜PRポイント＞

①取扱商品

- ・大同特殊鋼の金型用基本材料の在庫販売
YK30 (SKS93)、GOA (SKS3)、GO4、
GO5、GO40F、DC11 (SKD11)、DC53、
DCMX (マトリックスダイス鋼)、DRM 1、
2、3 (マトリックスハイス)
- ・金型製作の基本材料と金型部品
SS400鋼板 (ガス溶断、NC溶断機、アイ
トレーサーで形状切りに対応)
S50C鋼板・平鋼 (ガス溶断、鋸切断い
ずれにも対応)
各種スター金型用品 (金型用プレート、J
ブロック、ダイセット、ポストユニット、
ダイブロック)
- ・特徴ある各メーカーの金型材料
SX105V (火炎焼入用鋼)、KDA1、OM
アロイ (耐摩耗銅合金)、DUROシリーズ

粉末材料 (粉末ハイス、SUS440C系材料、
3Dプリンター用粉末)

②主な仕入先

メーカー：大同特殊鋼 愛知製鋼 日本高周
波鋼業 山陽特殊製鋼 不二越
新日鐵住金 中部鋼鉄 王子製鉄
大同DMソリューション 大阪合
金工業所

商 社：大同興業 豊田通商 メタルワン
特殊鋼

③加工業務

鍛造、各種機械加工、熱処理、表面処理な
どに対応

④特色

- ・1930年の創業以来、85年以上にわたり、一貫して金型材を販売店各位、および需要家へ供給させて頂き今日に至りました。
- ・1950年代前半、日本特殊鋼の代理店の時代、伝統ブランドEO110 (SKS2) を世間に広めたことで、『EOの竹内』と言われご愛顧を頂きました。
- ・1950年代後半以降、冷間ダイス鋼にSKD11が重用されていた当時、焼入性と加工性に優れたNR1を世間に推奨し、SKD11からSKD11への汎用ダイス鋼の鋼種切替えに、貢献して参りました。
- ・1976年以降、大同特殊鋼の代理店として引継がれた現在も、当社は伝統商品のSK・SKS・SKDを大切な看板商品の一つとしながら、さらに幅広く金型材を展開させています。
- ・豊富な材質・多種サイズの在庫、および金型材とその周辺技術について、数多くの情報を網羅している当社を“金型材のコンサルタント”としてご活用下さい。

■会社名 辰巳屋興業株式会社

■企業情報

社長名 樋 巳芳

従業員数 320名

本社所在地 名古屋市昭和区白金三丁目20番15号

HP <http://www.tmy-net.co.jp>

連絡先 TEL 052-882-8501 (代表)

FAX 052-882-8852

■辰巳屋興業は1947年、ばね鋼と自動車用板ばねの専門商社としてスタート。

日本のモータリゼーションの発展とともに着実に業容を拡大してきました。

おかげさまで2017年に創立70周年を迎えます。5つの事業部門を通じて車社会を支えているのがTMYグループです。

部門間の連携によるシナジー効果を追求しつつ、製造メーカーと一体になった商品開発にも取り組むなど、開発力を持った商社としても機能しています。

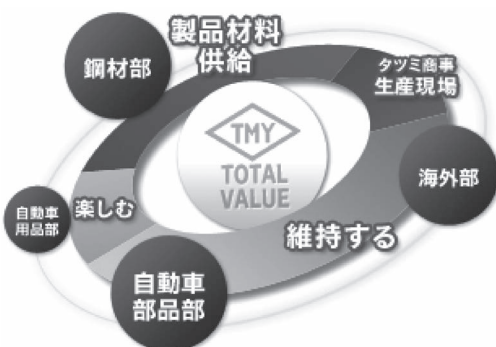
鋼材部 自動車産業をはじめ様々な分野に特殊鋼を供給。

自動車部品部 アフターマーケット向けの各種自動車パーツを国内市場へ供給。

自動車用品部 快適で充実したカーライフに向けカー用品を供給。

海外部 海外で走る日本車向けにアフターパーツを供給。

タツミ商事 カーメーカーを中心に工作機械用部品を提供。



■鋼材部 PR

事業拠点：名古屋、三重、大阪、東京、燕
グループ会社：タツミ物流(株)、東海冷間鍛造(株)

①取扱製品

各電炉・高炉メーカーのステンレス鋼や構造用鋼などの各種特殊鋼からアルミ製品、鍛造品までを自動車産業をはじめとする様々な業界に提供しています。

②主な仕入れ先（五十音順、敬称略）

愛知製鋼、神戸製鋼所、山陽特殊製鋼、JFEスチール、新日鐵住金、新日鐵住金ステンレス、大同特殊鋼、三菱製鋼、その他各製鋼メーカー、アルミメーカー

③「四位一体」

最適という付加価値を求めて、「四位一体」のネットワークを形成する。

メーカー・商社・流通・ユーザーを結び付ける特殊鋼の豊富な在庫。

材料を販売する流通各社・加工メーカーとの連携により様々な形状への加工能力を共有し、各社の強みを生かした営業展開。

その瞬間の最適を選択出来るネットワーク＝結束力で提案致します。

④ステンレス丸棒は特殊鋼種を含めた豊富な在庫レパートリーを有し、大阪・三重・東京の在庫拠点から全国へ対応致します。

2017年より新たに北関東倉庫を稼働させて東日本地区でのサービス強化。

新たなネットワーク形成を展開していきます。

⑤インドネシア鍛造事業：PT. KINGDUAN INDUSTRIAL INDONESIA

平成25年（2013年）度に台湾のトップクラスの熱間鍛造会社と共同出資にて熱間鍛造工場をインドネシア、バンドン近郊に設立。平成26年（2014年）8月に操業開始。

インドネシア国内での部品供給の他、アセアン諸国、日本等への熱間鍛造品の供給にも対応致します。

辰巳屋ネットワークは各社との強いタイアップ体制から、最適な付加価値を生み出します。

本 社 〒130-0023 東京都墨田区立川1-16-8

事業所 京葉特殊鋼センター、北関東営業所、長野営業所、東北営業所

創 立 1951年（昭和26年1月19日）

資本金 3,000万円

代表者 代表取締役社長 田嶋 直

従業員数 55名

事業内容 機械構造用炭素鋼、機械構造用合金鋼、合金工具鋼、高速度鋼、精密金型用鋼、特殊鋼鋼材及び加工品の販売

取扱メーカー 新日鉄住金株式会社、大同特殊鋼株式会社、JFEスチール株式会社、新関西製鉄株式会社、王子製鉄株式会社、株式会社川口金属工業、トピー工業株式会社、虹技株式会社、日本高周波鋼業株式会社、東北特殊鋼株式会社

私共の思い 当社の創立は1951年（昭和26年）。戦後、機械も物資も乏しい中、「鋼材が足りず、作りたい製品が作れない」という事業者で溢れかえていた時代、製品の素材として需要が膨らみ続ける鋼材の供給のために、創業者・会田東志は鐵鋼社を創立しました。

戦後、日本経済を発展させるためにも、日本の製造業にとっても鋼材は、命綱のようなものでし

た。「鉄は国家なり」に代弁され、需要が膨らみ近代産業を発展させるために欠かせないものとなった鋼材。鐵鋼社が安定供給し続けられるのは「日本のモノづくりを支える」という熱い思いがあるからです。「企業は公共性をもたなければならない。たとえ微力であっても社会に貢献する会社でなければならない」という創業者・会田東志の経営哲学は、今日も生き続けています。

私共の底力 豊富な在庫～

プラ型用鋼を中心とする豊富な自社在庫で安定した材料供給が可能です。機械構造用炭素鋼は国内最大級の在庫量がございます。

フレキシブル～

お客様のニーズに合わせ少量から大口のご注文まで、黒皮から加工品までフレキシブルに対応いたします。

スピード～

ご注文いただいた商品は、当社のネットワークを活用しご希望の日程に沿うようにスピーディにお届けいたします。

私共の決意 時代の流れの中で特殊業界を取り巻く環境も大きく変容し、お客様のニーズ、私共の役割も変わっていますが今後も以前にも増してお客様から信頼され、必要とされる企業で在りつづける為に社員一丸となり日々、努力して参ります。

■ 企業情報

社 長 名 中川陽一郎
 従 業 員 数 150名 (単体)
 本社所在地 東京都中央区明石町8-1
 聖路加タワー31階
 HP <http://www.nssi.co.jp/>
 連 絡 先 TEL 03-3542-8811 (代表)
 FAX 03-3541-0844

■ 拠点

国内事業所 本社 (築地)、天王洲、名古屋、
 大阪、広島、倉敷、札幌、北関東
 海外営業拠点 アメリカ、メキシコ、中国、タ
 イ、インドネシア、ベトナム、
 インド
 海 外 工 場 中国、タイ、インドネシア、ベ
 トナム
 合併事業会社 アメリカ、中国、タイ、インド、
 マレーシア、メキシコ

■ PR

① 取扱製品

特殊鋼：機械構造用炭素鋼、機械構造用合金鋼、
 ステンレス鋼、ばね鋼、高張力鋼、快削鋼、軸
 受鋼、冷間圧造用鋼、ボロン鋼、工具鋼、他
 モータ関連部材：磁性部材 (NdFeB系異方性ボ
 ンド磁石、6.5%珪素鋼板、等)、マグネットワ
 イヤ、軽量化部材 (アルミニウム、マグネシウ
 ム、高機能樹脂、等)、他

② 主な仕入れ先 (五十音順、敬称略)

愛知製鋼、朝日工業、山陽特殊製鋼、JFEス
 テール、新関西製鉄、住友金属鉱山、大同特殊
 鋼、中山製鋼所、日亜化学工業、日本製鋼所、
 三菱製鋼、他 (いずれも指定商社)

③ 加工事業

国 内：特殊鋼・鋼管等鉄鋼製品の切断業、等
 海 外：合併会社として冷間鍛造・機械加工・
 冷間磨棒加工・伸線引き抜き加工、等

④ 特色

● 沿革 (抜粋)

1924年 特殊鋼の輸入販売を目的に「中川秀太
 郎商店」を設立
 1951年 品川倉庫完成
 1974年 創業50周年、東京・築地に中川築地ビ
 ル竣工 (9F・8,000㎡)
 1984年 創業60周年、「中川特殊鋼」に改称
 埼玉・六軒工業団地に北関東鉄鋼流通
 センター完成
 1994年 品川区天王洲アイルに天王洲セントラ
 ルタワー竣工 (27F・47,000㎡)
 1996年 タイのバンコクに初の現地法人を設立
 2013年 セントラル新大手町ビル リニューアル
 開業 (9F・6,600㎡)
 2016年 本社を東京都中央区明石町 (築地) に
 移転
 2018年 東京・築地にホテル計画竣工予定
 (14F・11,747㎡・300室)

● 理念とPR

「Creating Value for Industry」を理念に掲げ、
 1924年の設立以来、商社の立場で「ものづくり」
 に真摯に取り組み、国内外のお取引先に「素材」
 と「技術」をコーディネートし、サービスの質に
 こだわったソリューションの提供を続けています。

国内外の流通ネットワークを活かし、品質では
 世界一と言われる国内外メーカーの特殊鋼を、自
 動車、建設機械、産業・電機機器といった各メー
 カーへ納入しています。新鋼種の開発や新工程の
 提案など、コンサルティングも推進しています。

専門知識、経験を兼ね備えた人材によるユー
 ザー現場に密着した提案型営業活動をはじめ、国
 内外で特殊鋼の流通機能は元より、加工会社との
 緊密な連携による特殊鋼加工製品の取り扱いまで、
 取引先ニーズに合わせ、迅速且つ最適な対応を
 行っています。

海外に於いては、輸出入業務をはじめとし、製
 品メーカーの世界市場進出や現地工場の立ち上げ
 支援などを強力にサポートするために積極的に海
 外拠点を拡大、供給ネットワークを構築し、サブ
 ライチェーンを創出しています。



名古屋特殊鋼(株)

名古屋特殊鋼株式会社

【企業情報】

社 長 名：代表取締役社長 鷺野 敦司

資 本 金：9,520万円

従 業 員 数：153名

本社所在地：愛知県犬山市字鶴池78-1

TEL：0568-67-6701（代表）

FAX：0568-68-6708

URL：<http://www.meitoku.co.jp/>

【事業所】

北関東営業所：栃木県小山市

浜松営業所：静岡県浜松市

【特色】

当社は自動車部品、工作機械、航空機部品など、多彩な用途に使われる特殊鋼の専門商社として、昭和40年に創業しました。より付加価値の高い製品を提供するため、昭和60年から金型加工分野に参入し、現在では、素材の提供から金型の設計、製作、トライまでを一貫して行う「商社とメーカーの両面を持つ会社」として独自のスタンスを

確立しております。特殊鋼という素材を知り尽くし、且つ、金型の設計・加工をも知る企業として、お客様が抱える問題（コストダウン・生産性向上、納期の短縮、新製品開発等）への解決策を、素材の選定から実際の加工に至るまで、具体的に提案していきます。

【取扱い製品】

〔特 殊 鋼〕 構造用炭素鋼・構造用合金鋼・熱間工具鋼・冷間工具鋼・粉末高速度工具鋼・ステンレス鋼

〔加 工 製 品〕 熱間・温間・冷間各種金型の設計製作、治工具・超硬型・航空宇宙用部品の製作

〔特殊鋼製品〕 精密鑄造品・一般鑄鋼品・精密型打鍛造品・磨棒鋼・異形引拔品

【主要仕入先】

山陽特殊製鋼(株)・愛知製鋼(株)・三菱製鋼(株)・ボーラー・ウッデホルム(株)・日立金属(株)・大同特殊鋼(株)・日本高周波鋼業(株)・(株)不二越

【関連会社】

(株)メイトクツールズ・メイトク北海道(株)・(株)ハマナダイテック・北陸精鍛(株)・IDT Tools, Inc. (米国法人)・PT. Meitoku-Wadayama Indonesia



ノボル鋼鉄(株)

最適な特殊鋼を お客様に
提案・提供する

◆ノボル鋼鉄株式会社◆

(NOBORU STEEL CO., LTD.)

代表取締役社長 三上 晃史

住 所 東京都千代田区外神田6-2-5

創 業 1945年10月

資 本 金 8,000万円

従 業 員 数 127名

事 業 内 容 特殊鋼販売
熱処理加工
機械加工

事 業 所 静岡、仙台、大阪、名取、南相馬

《おかげさまで72年》

当社は、戦後すぐに鉄製品を扱う会社を設立し、今年の10月に、72年を迎えます。

《当社の強み》

メインの業務は特殊鋼の販売ですが、川下工程である「熱処理加工」「機械加工」の工場を有しており、図面をいただければ、素材調達から完成製造まで一貫で対応出来ます。各部門の技術ノウハウを結集して、お客様に最適な材料と製品を提供しています。また、日本の各特殊鋼メーカーとの取引実績を生かし、お客様からのニーズをメーカーに反映し、新鋼種の開発も行っています。

《取扱商品（特殊鋼等）》

構造用鋼から工具鋼、ステンレスまで幅広い鋼を在庫・販売しています。

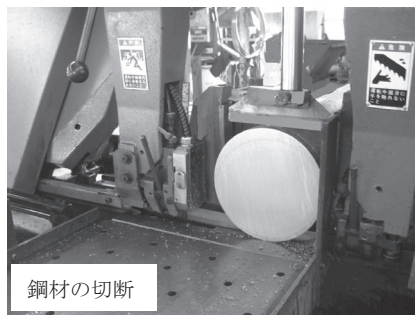
東京本社は、大同特殊鋼のプラスチック金型用鋼 NAK55、80の 丸、平材、電炉メーカーの機械構造用炭素鋼のS50Cの 平・四角材、いずれの鋼種也多岐にわたるサイズ展開で在庫しており、定尺販売はもちろん、切断販売も行い、北海道から沖縄迄納入しております。

その他静岡支店、仙台支店の倉庫は、機械構造用鋼を中心として、地域に密着したサービスを行っています。

《熱処理加工》

静岡支店内には熱処理センターがあり、主に真空炉で金型の焼入焼戻しを行っています。

他には、今塩浴炉、ピット式の窒素雰囲気炉や最新鋭の真空浸炭窒化炉により、高度な熱処理加工にも対応しております。



鋼材の切断

切断は900×700mmまで可能



全自動真空熱処理ライン

《精密機械加工》

福島テクニカルセンターに加え、宮城県名取市に新しく宮城テクニカルセンターを立ち上げ、稼動が始まっています。

マシニングセンタを主体とした精密加工を得意とし、大手自動車メーカーのエンジン製造ラインの加工設備部品の加工も手掛けています。

関連会社：機械加工工場

- ・ノボル精密(株)：静岡市
- ・ノボルエンジニアリング(株)：さいたま市



宮城テクニカルセンター

野村鋼機株式会社 [NOMURA KOKI CO., LTD.]

代表取締役 湊^{みなと} 義明^{よしあき}

資本金 32百万円 従業員 148名
＜特色＞

専門商社としての素材の提案機能に加え、加工設備を備えることで、より付加価値の高い提案を可能にしています。クオリティ、コスト、デリバリーという三要素全てでお客様に満足していただけるよう企業努力を続けています。高精度の加工が可能な体制の充実を図り、各拠点でのデポ機能と直接配送で最適調達を希望されるお客様の満足を目指します。

＜沿革＞

- 1953年(昭和28年) 東京都墨田区に野村鋼機株式会社を設立し営業を開始。
- 1956年(昭和31年) 江東区亀戸9丁目に本社及び鋼材倉庫を新設移転。
- 1967年(昭和42年) 江東区亀戸9丁目に本社ビル及び鋼材倉庫を新築着工。
- 1968年(昭和43年) 浦安鉄鋼団地に用地を取得し浦安倉庫を新築着工。
- 1977年(昭和52年) 前橋市に前橋営業所を開設。
- 1982年(昭和57年) 浦安鉄鋼第2団地に浦安特殊鋼センター落成。
- 1997年(平成9年) 江東区亀戸5丁目に本社ビルを新築移転。
- 2002年(平成14年) 全事業所ISO9001認証取得。
- 2005年(平成17年) 前橋支店の機械設備を増強し、機械加工を強化。
- 2007年(平成19年) 広島県福山市に広島支店を開設。
- 2012年(平成24年) 新潟県三条市に新潟営業所を開設。
- 2014年(平成26年) 前橋市五代町に機械加工センターとして関東テクノセンターを開設し、加工体制を強化。

＜各事業所＞

東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸5-22-13
TEL 03-3682-2131 FAX 03-3682-6877

茨城支店

〒300-0504 茨城県稲敷市江戸崎甲1332
TEL 029-892-8203 FAX 029-892-8209

前橋支店

〒371-0857 群馬県前橋市高井町1-28-8
TEL 027-253-6266 FAX 027-253-6970

広島支店

〒729-3102 広島県福山市新市町相方1089-60
TEL 0847-40-3440 FAX 0847-40-3441

新潟営業所

〒955-0092 新潟県三条市須頃1-11-102
TEL 0256-47-1134 FAX 0256-47-1153

関東スチールセンター

〒300-0504 茨城県稲敷市江戸崎甲1332
TEL 029-892-8207 FAX 029-892-8209

関東テクノセンター

〒371-0132 群馬県前橋市五代町1103-2
TEL 027-230-2233 FAX 027-230-2237

浦安特殊鋼センター

〒279-0024 千葉県浦安市港74番地
TEL 047-351-5205 FAX 047-353-8761

＜取引メーカー名＞

大同特殊鋼(株)、合同製鐵(株)、新日鐵住金(株)、JFEスチール(株)、(株)神戸製鋼所、(株)日本製鋼所、山陽特殊製鋼(株)、三菱製鋼(株)、日本高周波鋼業(株)、新関西製鐵(株)、朝日工業(株)、(株)中山製鋼所

＜販売品目＞

- ・構造用鋼（機械構造用炭素鋼、構造用合金鋼）
- ・特殊用途鋼（軸受鋼、非調質鋼、含Ni鋼、窒化鋼、バネ鋼、ステンレス鋼、耐熱鋼）
- ・金型鋼及び加工品（冷間用金型鋼、熱間用金型鋼、プラスチック用金型鋼、高速度工具鋼）
- ・その他（普通鋼、鉄鋼二次製品、鑄鍛鋼品、非鉄金属）

＜加工業務＞

- ・切断—大型縦型切断、中・小型帯鋸切断、丸鋸切断、他
（小型から大型サイズ迄の小ロットから数物迄対応致します）
- ・機械加工—旋削加工、切削加工、穿孔加工、研磨及び仕上加工、他
 - ・マシニング加工品、各種大型成形加工品、各種NC旋盤加工品、各種NCフライス加工、各種穿孔加工、他
 - ・ハンマー型、プレス型の金型及び設備部品、ダイキャスト金型、各種シャフト類、各種部品、他
- （あらゆる鋼種・形状に幅広く柔軟に対応致します）
- ・各種熱処理—A、N、HT、高周波焼入れ、窒化处理、表面处理、他

多品種変量・短納期
ーコストダウンを伴ったフレキシブルな
対応をめざして

代表取締役社長：藤田 忠義

1) 本社：千葉県浦安市鉄鋼通り1-8-9
本店：(登記上) 東京都墨田区亀沢2-11-16
(創業地)

2) 創 立：昭和22年10月 (創業70年)

3) 資本金：4,500万円

4) 従業員：95名 (平成29年3月現在)

5) 営業品目：

・鉄鋼部門

特殊鋼 (構造用鋼・ステンレス鋼)

特殊鋼の切断加工品、機械加工品 (自社加工)、
普通鋼および非鉄金属の販売

・機械加工部門

大型長尺旋盤、NC旋盤加工、フライス盤加工、
BTA深孔明加工

・機械販売部門

ドイツKASTO社の日本総代理店

切断機および立体自動倉庫、その他工作
機械、工具の輸入販売

6) 上記各部門の拠点と特徴

〈鉄鋼部門〉

- ・浦安鉄鋼センター：千葉県浦安市
- ・北関東支店：栃木県佐野市
- ・東北支店：宮城県仙台市
- ・茨城支店：茨城県かすみがうら市
- ・神奈川支店：神奈川県相模原市

〈特徴〉鉄鋼部門は上記のように関東、東北一
円で営業活動をしており5つの拠点で常時、
10,000トンに及ぶ鋼材を在庫しております。
5拠点の各工場には最新鋭の立体自動倉庫6
基、また計30台以上の各種切断機を設置し、
最大直径730mmまでの切断が可能であり、自
動化・省力化をはかり“多品種変量短納期”
を実現すべく、専用輸送体制を完備し、即納
体制を有しています。



立体自動保管システム (浦安鉄鋼センター内)

〈機械加工部門〉

- ・浦安機械加工センター：千葉県浦安市港40番地
〈特徴〉機械加工分野へ昭和35年に進出し、特
に大物加工品を得意とし、長尺汎用旋盤、
CNC旋盤など11機で加工最大径550mm、最長
12mまでの加工が可能。さらにBTA深孔明加
工では最大305mmまでの深孔加工が可能。素
材から切断、鍛造、熱処理、機械加工製品ま
での一貫制作を行っています。



大型長尺旋盤加工+BTA加工製品



全自動帯鋸盤 KASTOtwinA4

〈機械販売部門〉

- ・機械営業部：千葉県浦安市鉄鋼通り1-8-9
(浦安本社内)

〈特徴〉昭和38年、ヨーロッパ最大の切断機、
立体自動倉庫メーカーKASTO社の日本総代
理店となって以来、日本全国北海道から九州
まで切断機5,800台、立体自動倉庫28セットの
導入実績があり、切断機では「高速切削・高
精度・鋸刃の長寿命」、立体自動倉庫では「省
力化・省人化」をねらいにお客様のニーズに
こたえた最適のシステムを提供し、サービス
プログラムによる万全なサービス体制を確立
しています。

◇ 特 色

当社は、昭和10年に創業し素材販売や二次製品完成品までの販売を行っております。「信頼」の言葉を大切にし、お客様のニーズに誠意をもって対応できるように致しております。

更に、各鋼種のサイズを豊富に取り揃え、さまざまな方向からのコストダウンを考えております。

長年の経験を活かしお客様のアシストができる企業を目指していきたいと考えております。

◇ 取扱い商品

特殊鋼（機械構造用炭素鋼・構造用合金鋼・快削鋼・パネ鋼）

◇ 二・三次加工

みがき棒鋼・機械加工品・熱処理品・鍛造品

◇ 主な仕入先

愛知製鋼・新日鉄住金・合同製鉄

◇ 資本金・従業員数・本社所在地

資 本 金：4,320万円

従 業 員 数：27名

本社所在地：〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町
5丁目205番地

◇ 主な事業所

特殊鋼サービスセンター（堺市堺区）



◇ 企業情報

- ・代表取締役社長 堀田 靖
- ・資本金 4,000万円 ・従業員数 33名
- ・本社所在地
〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町 3 丁目 19-2
- ・URL <http://hotta-hagane.co.jp>
- ・TEL 072-244-0011 ・FAX 072-244-0330
- ・拠点 物流センター（本社内）

◇ PRポイント

①取扱い商品

- ・特殊鋼
含ニッケル鋼（SNCM鋼・SNC鋼）・合金鋼（SCM鋼・SNB鋼）・窒化鋼
SNCM鋼 SNCM220H・SNCM420H・SNCM439・SNCM447・SNCM616・SNCM630・SNCM815
SNC鋼 SNC415・SNC631・SNC815・SNC836
SCM鋼 SCM415H・SCM420H・SCM435H・SCM440H・SCM435H[㊦]・SCM440H[㊦]・
- SNB鋼 SNB16[㊦]・SNB7[㊦][㊦]・SNB7引拔
- SACM鋼 SACM645
- ・ステンレス鋼
SUS304 固溶化品・アズロール品・引拔材・ネジ下材・酸洗六角
- XM7 丸線・六角線

②主な仕入先

取引メーカー

愛知製鋼(株)・大同特殊鋼(株)・(株)中山製鋼所・JFEスチール(株)・関西磨鋼材(株)・日本精線(株)・ヤマシンスチール(株)・大一特殊鋼(株)・(株)東洋金属熱錬工業所・(株)ダイネツ

仕入先

川本鋼材(株)・大同興業(株)・中山通商(株)・住商特殊鋼(株)

③加工業務

切断加工（社内）熱処理・鍛造・引抜・機械加工の取り扱い（社外）

④沿革・理念等

- ・企業理念
『身の丈に合った経営戦略でお客様に寄り添える会社を目指す』
- ・沿革

昭和31年01月 大阪市西区に於いて 堀田鋼商店として個人創業
昭和34年03月 株式会社堀田鋼商店を設立
昭和36年07月 株式会社堀田ハガネに商号変更
昭和61年09月 本社を堺市西区築港新町に移転

⑤特色

ニッチな商品を取り揃えています。

含ニッケル鋼（SNCM鋼・SNC鋼）や高温ボルト用鋼（SNB7・SNB16）SCM鋼の汎用鋼種に加えSCM415快削鋼やSCM435H・440Hの調質材とステンレス鋼は、ネジ下材や酸洗六角など幅広い在庫を揃えています。

この商品群と機械加工（切断）能力を最大限に発揮し、ユーザーへのきめ細かいサービスを展開しています。



(株)メタルワン特殊鋼

株式会社メタルワン特殊鋼

【企業情報】

取締役社長 古賀 康友
資本金 5億円
社員数 270名(2017年8月)
東京本社 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 JPタワー
TEL: 03-6777-6012(代表)
大阪本社 大阪府北区中之島二丁目2番7号 中之島セントラルタワー
TEL: 06-7711-6110(代表)
HP <http://www.mtlo-tok.co.jp>
事業所 東京本社(東京都千代田区)
大阪本社(大阪府大阪市)
中部営業部(名古屋市中村区)
北陸営業部(富山県富山市)
水島支店(岡山県倉敷市)
広島支店(広島県広島市)
九州支店(福岡県朝倉市)
東北加工センター(福島県二本松市)
関東加工センター(埼玉県加須市)
中部加工センター(三重県三重郡)
北陸加工センター(富山県富山市)
関西加工センター(大阪府高石市)

【主な取扱商品】

軸受鋼／構造用鋼／工具鋼／耐熱鋼／快削鋼／高張力鋼

【主な仕入れ先】

日新製鋼、新日鐵住金、神戸製鋼、三菱製鋼、大同特殊鋼、山陽特殊製鋼、JFE、JFE条鋼、愛知製鋼、合同製鐵、中山製鋼、中部鋼鉄、その他(海外ミル含め)

【主な販売先】

モリテックスチール、三菱ふそうトラックバス、不二越、テクノメタル、メタルアート、トピー工業、日本精工、椿本チエイン、日産自動車関連

【沿革】

株式会社メタルワン特殊鋼

2005年7月 アサヒスチール株式会社、エムシー・メタルワークス株式会社、菱洋スチールセンター株式会社の3社が統合し、株式会社メタルワ

ン特殊鋼となる。

2007年1月 資本金5億円に増資
2008年4月 株式会社メタルワンの特殊鋼事業部門と統合
2015年3月 東京本社を丸の内のJPタワーへ移転
2016年7月 大阪本社を中之島へ移転

【特徴】

株式会社メタルワン特殊鋼は、2005年7月にアサヒスチール、エムシー・メタルワークス、菱洋スチールセンターの3社が合併して発足しました。

2008年4月に株式会社メタルワンの特殊鋼事業部門を統合し、商社機能・加工機能・物流機能が融合する次世代型の特殊鋼流通企業として、本社(東京、大阪)、4支社(北関東、水島、広島、九州)、2営業部(中部、北陸)、5加工センター(東北、関東、中部、北陸、関西)を展開する国内最大級の特殊鋼専門商社となりました。

約700社の取引先は自動車メーカーやベアリングメーカー、自動車部品の二次、三次メーカーなど多岐にわたります。

私たちは、特殊鋼におけるプロ集団として、これまでの特殊鋼流通で培ったノウハウを最大限に活かしながら、メタルワン並びにグループ各社との強固な連携のもと、あらゆる種類の特殊鋼の販売・加工・物流・在庫・貿易を手がけ、業界のリーディングカンパニーとして国内外での最適なソリューションをご提案できるよう機能を最大限発揮いたします。



業界のうごき

愛鋼、本社工場の機能、衣浦に集約 新工場を今秋着工、19年稼働へ

愛鋼は、衣浦工場（愛知県半田市）の隣地への工場建設を今秋からスタートし、将来は本社工場の全機能を移管する。今後設備の新設、移設を行い、加工機能の効率化、人員の最適配置を実施し、スチールセンター化を図り、19年内の本稼働を目指す。総投資額は約10億円。

衣浦工場は自動車関連の切断、穴明け加工やステンレス平鋼の冷間圧延などを手掛ける。16年に現工場に隣接する土地約1万8,000平方メートルを購入の上、能力、機能強化を図るため18年度までに新工場を建設する計画を立てていた。各拠点の設備、機能集約を視野に入れる中、まず事務部門を除く本社工場を全面移管する。

本社の各機能およびステンレス加工部門を移設後も、新工場にはまだスペースが残る。棒鋼切断・穴明けラインの増強、他拠点の更なる機能集約や新規事業も検討する。（6月28日）

浅井産業、日・タイで切断加工強化 特殊鋼棒鋼など、投資9億円

浅井産業は日本とタイのグループ会社で切断加工事業を拡大する。碧南プロセッシングセンター（愛知県碧南市、以下HPC）が本社工場の近隣に第2工場を開設し、特殊鋼棒鋼の精密切断加工体制を拡充する一方、アサイ・タイ（アユタヤ県ハイテク工業団地）が敷地内に建屋を増設し、アルミ押出棒の切断機を増設する。HPCの第2工場の総投資額は8億5,000万円、タイは6,000万円。

HPCは切断機約30台などを持ち、トヨタ自動車向けを中心に特殊鋼棒鋼の精密切断加工を行っている。トヨタ向けの受注拡大で手狭となっており、浅井産業が近隣の敷地7,000平方メートルを購入し、4,000平方メー

トルの工場棟を建設する。

第2工場は12月稼働予定で、本社工場はトヨタ向け専用とする。切断機の一部を第2工場に移設し、レイアウト改善により加工能力を拡大する。第2工場の半分強は物流倉庫とする予定で、有効な活用策を今後検討する。（6月2日）

サハシ特殊鋼、焼却設備で新事業 設計～メンテナンスを一貫で

サハシ特殊鋼は公共関連の焼却設備のメンテナンス業務を開始し、設備関連事業で設計から保守までの一貫体制を構築した。組織体制も強化しており、今後は受注拡大と他設備への展開を図っていく。

同社はかねて自動車関連設備など大型機械、設備の設計・製作を手掛けている。保守・管理事業に参入しサービス強化を図ることを検討していたところ、各市町村の焼却設備案件を受注した炉メーカーから設計・施工業務を受託。同設備が年3回程度保全作業を必要とすることに加えて保全業務に対応する業者が少ないことから、全工程を一括して請け負うことに決めた。

業務開始に当たり「施工グループ」を新設。メンテナンス業務のほか営業活動も行う。すでに3件の保全契約を結び、海外ユーザーの引き合いも寄せられており、受注増を狙う。

（6月27日）

大同DMソリューション、インドネシアで金型加工 国内外で表面処理設備増強

大同DMソリューションは、今年度中にインドネシアに現地法人を設立し、金型加工拠点を開設する。メキシコ、インド現法を増強するなど海外で今年度7億円を投資する。国内では付加価値の向上を図るため、三次元加工や表面処理の強化に5億円を投資する。

海外拠点は今年度中に10カ国13拠点となり、来年度以降も拠点を増やしグローバルに高度な加工品を供給できる体制を整える。国内では付加価値を高め、安定的な収益基盤を確立していく。

インドネシアには現地流通との合弁会社があるが、金型加工の現地法人を新設する。当面はフジオーゼックスのインドネシア子会社向けにバルブ用小型金型を供給し、将来はダイカスト金型など大型品にも取り組む。

国内ではPVD事業を一つの柱に据えるため、表面処理設備を増強する。静岡、相模工場に続いて名古屋工場にもPVD装置を設置する。

（6月8日）

野村鋼機、大型金型材加工で新工場 総投資13億円、産機・航空機向け

野村鋼機は、兵庫県加東市の工業団地「ひょうご東条ニュータウンインターパーク」に関西テクノセンター（仮称）を開設する。産機・航空機関連を中心とする熱間工具鋼の大型加工を強化し、同時に西日本地区における構造用鋼の物流・切断拠点とするのが狙い。

敷地約1万平方メートルに建屋約5,000平方メートルを建設し、超大型5面加工機や縦型・横型マシニングセンター、大型帯鋸盤などを導入する。18年4月に完成、5月に操業開始する予定。総投資額は13億円以上。

熱間工具鋼の機械加工拠点としては関東テクノセンター（群馬県前橋市）と並ぶ西の拠点になる。用地は取得済みで10月に着工する。

広島支店でも熱間工具鋼の機械加工を行っているが、西日本地区の大型品の加工ニーズに対しては関東テクノセンターや外注活用で対応している。新工場の稼働により顧客に密着した加工・納期対応力を高める。

（6月8日）

業界のうごき

白鷺特殊鋼、相次ぎ切断機を導入 今期1.5億円投じ能力強化

白鷺特殊鋼は、切断加工の高速化、精度向上を図るため最新鋭切断機をグループ会社のハクロスチールに導入した。アマダ製のHPSAW-310で初の導入例となる。今期（17年10月期）は、他にも支店やグループ会社で切断機の増設や老朽化更新を行い、加工能力を増強している。一連の投資額は約1億5,000万円。

HPSAWの特徴は、帯鋸刃のひねりをゼロにすることで安定した高速走行を実現。アマダによると「1分当たりの走行距離が従来の120メートルから400メートルと速度は3倍以上となり、バンドソーでは世界最速」という。50～310ミリ径まで切断できるため、太径丸棒の高速切断も可能。作業現場の環境改善のため、切粉の自動処理システムや切削油の回収システムも付帯している。

同社は、グループ全体で特殊鋼丸棒（圧延、鍛造）を13～1,600ミリ径まで扱い、切断加工は長8ミリから12メートルまで対応している。（7月18日）

メタルワンが新中期計画を策定 20年度に純利益300億円超へ

メタルワンは20年度に連結純利益300億円（16年度実績は226億円）を目指す。新中期計画「成長戦略2018」の説明会で、岩田修一社長兼CEOが「どのような環境であろうともコンスタントに300億円稼いでいく力を付ける。海外事業の収益基盤を固める」と強調した。岩田社長は取扱数量について「数量、トン数にこだわる。過去のピーク時には年間で2,400万～2,500万トン売っていた」とした上で「エムエム建材をオフバランス（分離）したことでいったんスリムになったが、20年度には2,500万トンを目指す」と語った。

グループ企業の数については「20年度には今の110社を90社ぐらいに減らしたい。新規に増やす一方で、再編統合も含めて20数社の企業を減らすイメージだ」と述べた。

新中計では軸足を明確に成長に移す。「業態変革に加え、強いところをより強くするための選択と集中を徹底する」と強調した。（6月7日）

愛知製鋼、サーボ式プレスライン稼働 次世代車向け、国内鍛造メーカーで初

愛知製鋼、国内鍛造品メーカーで初めてサーボ式プレスラインを導入し稼働開始した。HV（ハイブリッド）、PHV（プラグインハイブリッド）など自動車の電動化による機構変化に対応した鍛造技術を開発する。6億円を投じて実験工場（愛知県東海市）に研究開発用ラインを設置した。

自動車のエンジン、トランスミッションなどには強度・剛性の高い特殊鋼鍛造品が使われるが、今後は自動車の電動化によりユニット系全体のコンパクト化、機構変化が進むため、鍛造品も小型・軽量化に加えて部品機能を統合できる高機能化ニーズが高まる見込み。

サーボ式プレス（金型の上下スライド位置情報を自動制御できるサーボモータを駆動に用いるプレス機）は、熱間鍛造の分野ではこれからの技術。成型速度を自在に変化させることで、従来の熱間鍛造では難しかった複雑な形状に対応できる。（7月13日）

神戸製鋼、タイで特殊鋼線材を圧延 現地合弁の特殊鋼ミル、試運転開始

神戸製鋼所はタイのミルコン・スチールと合弁で設立した「コベルコ・ミルコン・スチール」（KMS）で、昨年からの普通線材生産に続いて、5月から特殊鋼線材用の仕上げ圧延ミルの試運転（ホットラン）を開始した。夏からは自動車部品メー

カーなど需要家向けにサンプル出荷を行い、品質承認）取得の作業を急ぐ。今年度中には量産体制に移行する見通しだ。

神鋼は今年11月初めに加古川製鉄所へ上工程を集約。日本国内の粗鋼生産能力は年700万トンに減少するが、加古川の新ブルームCC（第6ブルーム連続鑄造設備）で製造・分塊圧延した高品質ビレットを輸出して現地で圧延し、グローバルで特殊鋼線材の生産販売数量を拡大する。

KMS社は、国内メーカーの線材圧延では唯一の海外拠点。特殊鋼線材の圧延ミルはタイ国内ではもちろん、東南アジアでも業界初の設備となる。

（6月9日）

新日鉄住金、原料炭もスポット連動 4～6月積みから適用

新日鉄住金は、原料炭の価格決定に当たり、スポット価格（インデックス）を基準に四半期価格を決める方式を採用する。現在は複数の有力石炭サプライヤーとの交渉で四半期価格を決めているが、今後は原則、交渉を行わない。4～6月積みに遡って適用する。スポット連動方式は鉄鉱石で採用済み。原料炭も同様の方式へ移行することで、高炉メーカーの鉄鋼原料購入価格は、スポット価格の影響を一段と受けることになる。

複数の原料炭サプライヤーと合意した。主要なサプライヤーと結んでいる年間数量契約は維持する。対象とするのはコークス主原料の強粘結炭で、高炉吹き込み用炭（PCI炭）、コークス配合用の非微粘結炭は従来通り、交渉で価格を決める。JFEスチールなど他の高炉メーカーも追随する見通し。

当面は、インデックスが実際の市場価格を的確に反映しているかどうかの検証も必要となりそうだ。（6月13日）

業界のうごき

日新製鋼、呉第1高炉の拡大改修 2023年度末に延期

日新製鋼は、新日鉄住金による子会社化に伴う呉製鉄所の構造改革として計画している「第1高炉拡大改修・第2高炉休止」を延期することを決めた。19年度末までに第1高炉を拡大改修し、その後第2高炉を休止する計画だったが、第1高炉の拡大改修時期を23年度末に延期し、その後第2高炉を休止することにした。

新日鉄住金による子会社化が今年3月に完了して以降、両社は連携施策の検討を進めていたが、新日鉄住金の高炉長寿命化に関する設備技術、操業技術を移転・活用することで呉の第1、第2高炉の稼働期間を延長できると判断した。

日新製鋼では、これによる足元の投資余力拡大を生かし、コア製品戦略投資を加速し収益力と財務体質強化を図る。同社は「新日鉄住金との間でこの件に関する協議を重ね、計画を具体化する」としている。

(7月31日)

日本冶金、南京鋼鉄などと合併設立 中国で高機能材を生産

日本冶金工業と中国の南京鋼鉄、江蘇三鑫特殊金属材料の3社は4日、中国合併設立に関する契約を締結した。合併会社は「南鋼日邦冶金商貿(南京)」。資本金は1千万人民元(約1億6,700万円)で出資比率は日本冶金工業60%、南京鋼鉄37%、江蘇三鑫3%。今後設立手続きを進め、12月に開業する予定。

合併会社は高機能材(主としてニッケル含有率20%以上の高ニッケル合金)の仕入販売、委託圧延・加工、技術及び品質保証サービスを行う。

日本冶金は高機能材の主要市場である中国で短納期化、大単重化、超広幅化など高度化するニーズに対応

するため、最新鋭・高性能の厚板設備を持つ南京鋼鉄に厚板製造を委託する。大手国営石油会社をはじめとする南京鋼鉄の営業基盤も活用する。

日本冶金のスラブ技術と南京鋼鉄の圧延技術を組み合わせることで、グローバル競争力のある高機能材事業を目指す。(7月5日)

日立金属、クラッド材で増産投資 75億円投じ、土浦に新ライン

日立金属はクラッド材の増産投資を行う。約75億円を投じて完全子会社のSHカッププロダクツの本社工場(茨城県土浦市)に圧接機、圧延機などクラッド工程のライン一式を導入し、18年度下期に稼働開始する。クラッド材事業の強化では、18年4月に日立金属ネオマテリアルとSHカップを統合するとともに、今回の投資で生産能力を増強。20年度までにクラッド材関連事業の売上げ規模を16年度比3倍に拡大し、技術力だけでなく数量規模でも世界首位を狙う。

日立金属グループのクラッド材は、自動車の熱交換器や携帯端末の放熱部品、電池の電極、内部リード、集電箔などに使用される。ハイブリッド車、電気自動車などxEV需要の拡大で増産体制を早期に整えるため、土浦のインフラを有効活用する。日立金属・安来工場の広幅圧延技術も活用し、広幅化による合理化効果を織り込んだラインを導入する。

(7月14日)

不二越、8月、本社を東京へ一本化 ロボット事業強化、総合機械へ転換

不二越は、現行の富山・東京の2本社制を見直し、東京に本社を一本化する。8月に実施する。移転先は現東京本社で変わらない。来年2月の定時株主総会後、本店登記も富山から東京へ移す。

同社は昨年からロボットを核とす

る総合機械メーカーへの転換を図る経営方針を打ち出している。世界市場でロボット事業の業容拡大を加速させるため、人材や情報が集積する東京に本社を一本化する。ロボット事業の更なる強化で、20年度までに売上高4,000億円に引き上げる長期ビジョン達成を目指す。

8月までに富山のロボット開発・企画部門100人のうち約60人を東京本社へ移管する。関東地区でロボットの研究開発拠点設置も検討している。

富山本社は富山事業所とする。国内外の生産拠点のマザー工場としての位置付けは変わらない。人事、財務などの機能も残す。(7月6日)

三菱製鋼、新たに営業本部制を導入 事業部間のシナジーを追求

三菱製鋼は23日付で営業部門を新設し、各事業部の営業部と支社を集約した営業本部を新設する。事業部ごとに営業を置く体制を見直し、全社の総合力により営業シナジーを高めるのが狙い。

従来は鋼材・ばね・素形材・部品の4事業部それぞれの営業部隊と中部・西日本の2支社で営業を行ってきた。同じ顧客が2つ以上の事業部の客先というケースもあり、従来も社内情報共有してきたが、より効率的、機動的に顧客対応できるように組織体制を変える。営業本部として一体化することで、より円滑な情報共有を行い、事業シナジーを高める。

三菱製鋼は16年4月に技術開発センターを開設し、主力4事業(特殊鋼鋼材、ばね、素形材、機器装置)の研究開発や事業シナジーを追求する体制を整えた。研究開発設備の増強も積極的に進めている。技術開発に続いて営業でもシナジーを高める体制を整える。(6月22日)

文責:(株)鉄鋼新聞社

特殊鋼統計資料

特殊鋼熱間圧延鋼材の鋼種別生産の推移

鋼 種 別

(単位：t)

年 月	工具鋼	構 造 用 鋼			特 殊 用 途 鋼						計	合 計
		機械構造用炭素鋼	構 造 用 合金鋼	計	ばね鋼	軸受鋼	ステンレス鋼	快削鋼	高抗張鋼	その他		
'15 暦年	247,346	4,645,724	3,564,630	8,210,354	431,529	986,169	2,755,748	615,811	4,953,652	674,565	10,417,474	18,875,174
'16 暦年	242,925	4,713,936	3,593,009	8,306,945	411,650	939,192	2,784,129	590,795	5,485,686	676,186	10,887,638	19,437,508
'15 年度	241,082	4,638,379	3,487,357	8,125,736	421,420	962,553	2,725,384	593,245	5,048,694	694,055	10,445,351	18,812,169
'16 年度	246,763	4,786,841	3,677,564	8,464,405	424,465	951,774	2,803,875	602,844	5,496,896	657,374	10,937,228	19,648,396
'16. 7- 9月	61,195	1,169,049	880,846	2,049,895	101,698	229,877	712,086	146,293	1,358,925	175,081	2,723,960	4,835,050
10-12月	60,131	1,234,367	940,870	2,175,237	106,184	245,853	703,815	152,582	1,507,606	141,162	2,857,202	5,092,570
'17. 1- 3月	64,955	1,241,534	954,019	2,195,553	110,678	239,733	717,603	151,421	1,356,086	164,989	2,740,510	5,001,018
4- 6月	65,757	1,260,671	1,002,442	2,263,113	106,454	256,504	681,063	162,754	1,424,419	156,719	2,787,913	5,116,783
'16年 5月	20,690	392,171	315,565	707,736	38,470	82,279	231,127	55,849	476,560	55,996	940,281	1,668,707
6月	19,283	377,784	301,662	679,446	34,291	81,690	230,784	55,081	408,339	59,381	869,566	1,568,295
7月	19,655	408,897	311,084	719,981	36,239	83,038	237,034	50,919	424,758	54,748	886,736	1,626,372
8月	18,634	365,393	260,879	626,272	33,735	69,444	229,562	48,684	437,022	68,397	886,845	1,531,750
9月	22,906	394,759	308,883	703,642	31,724	77,395	245,490	46,690	497,145	51,936	950,380	1,676,928
10月	20,549	407,234	312,835	720,069	37,585	83,172	238,329	47,459	535,872	49,990	992,407	1,733,025
11月	18,433	402,961	311,059	714,020	37,089	80,548	225,357	54,963	463,212	45,569	906,738	1,639,191
12月	21,149	424,172	316,976	741,148	31,510	82,133	240,129	50,160	508,522	45,603	958,057	1,720,354
'17年 1月	19,468	408,964	301,672	710,636	34,927	74,618	239,578	47,258	458,011	58,149	912,541	1,642,645
2月	21,372	397,944	310,858	708,802	35,718	79,301	232,919	50,822	417,401	47,934	864,095	1,594,269
3月	24,115	434,626	341,489	776,115	40,033	85,814	245,106	53,341	480,674	58,906	963,874	1,764,104
4月	20,766	413,194	320,583	733,777	34,000	82,220	245,262	50,063	505,150	60,497	977,192	1,731,735
5月	21,780	424,232	339,881	764,113	36,829	86,446	227,236	54,178	465,489	48,755	918,933	1,704,826
6月	23,211	423,245	341,978	765,223	35,625	87,838	208,565	58,513	453,780	47,467	891,788	1,680,222
前 月 比	106.6	99.8	100.6	100.1	96.7	101.6	91.8	108.0	97.5	97.4	97.0	98.6
前年同月比	120.4	112.0	113.4	112.6	103.9	107.5	90.4	106.2	111.1	79.9	102.6	107.1

出所：経済産業省『鉄鋼生産内訳月報』から作成。

形 状 別

(単位：t)

年 月	形 鋼	棒 鋼	管 材	線 材	鋼 板	鋼 帯	合 計
'15 暦年	270,761	5,828,923	1,081,718	4,123,192	1,508,876	6,073,343	18,886,813
'16 暦年	309,707	5,756,252	989,696	4,173,511	2,001,827	6,218,161	19,449,154
'15 年度	269,744	5,701,404	1,009,207	4,171,024	1,580,711	6,091,727	18,823,817
'16 年度	313,559	5,917,546	984,067	4,202,470	1,954,496	6,287,894	19,660,032
'16. 7- 9月	70,392	1,419,521	235,702	1,053,026	505,042	1,554,264	4,837,947
10-12月	92,847	1,511,581	257,522	1,038,676	612,602	1,582,255	5,095,483
'17. 1- 3月	85,865	1,533,680	247,107	1,090,747	410,529	1,636,003	5,003,931
4- 6月	77,687	1,596,581	276,680	1,053,309	434,289	1,681,050	5,119,596
'16年 5月	17,578	499,109	85,861	347,689	159,389	560,052	1,669,678
6月	18,571	492,456	80,330	340,565	158,658	478,686	1,569,266
7月	19,171	512,102	77,483	364,211	147,560	506,816	1,627,343
8月	22,947	505,498	74,800	356,235	152,181	521,060	1,532,721
9月	28,274	401,921	83,419	332,580	205,301	526,388	1,677,883
10月	47,381	500,006	93,949	350,625	203,637	538,398	1,733,996
11月	21,757	501,641	73,282	346,353	184,156	512,973	1,640,162
12月	23,709	509,934	90,291	341,698	224,809	530,884	1,721,325
'17年 1月	30,982	480,915	83,690	357,774	137,122	553,133	1,643,616
2月	35,274	495,365	79,459	348,387	116,286	520,469	1,595,240
3月	19,609	557,400	83,958	384,586	157,121	562,401	1,765,075
4月	22,545	509,877	98,030	347,221	182,910	572,123	1,732,706
5月	24,514	539,243	84,823	360,133	122,987	573,997	1,705,697
6月	30,628	547,461	93,827	345,955	128,392	534,930	1,681,193
前 月 比	124.9	101.5	110.6	96.1	104.4	93.2	98.6
前年同月比	164.9	111.2	116.8	101.6	80.9	111.7	107.1

出所：『経済産業省生産動態統計』から作成。

特殊鋼鋼材の鋼種別販売(商社+問屋)の推移 (同業者+消費者向け)

(単位:t)

年 月	工 具 鋼	構 造 用 鋼			特 殊 用 途 鋼								計	合 計
		機械構造用炭素鋼	構 造 用 合金鋼	計	ばね鋼	軸受鋼	ス レ ス 鋼	快 削 鋼	高 力 抗 張 鋼	そ の 他	計	合 計		
'15 暦 年	315,222	3,799,665	4,044,736	7,844,401	251,940	451,168	3,015,291	172,597	122,078	35,288	4,048,362	12,207,985		
'16 暦 年	318,284	3,793,728	4,159,973	7,953,701	249,025	502,736	3,043,035	167,359	100,734	40,543	4,103,432	12,375,417		
'15 年 度	319,413	3,811,785	4,049,269	7,861,054	265,198	443,260	3,005,738	169,510	114,666	35,504	4,033,876	12,214,343		
'16 年 度	317,816	3,843,693	4,224,447	8,068,140	255,982	531,825	3,063,505	170,660	95,118	43,717	4,160,807	12,546,763		
'16年 10月	27,026	323,739	351,228	674,967	20,091	45,889	258,254	13,248	7,822	4,156	349,460	1,051,453		
11月	27,598	327,455	354,966	682,421	22,487	47,041	257,600	14,510	8,280	3,582	353,500	1,063,519		
12月	25,254	321,491	352,053	673,544	20,563	46,163	253,014	14,600	7,317	3,698	345,355	1,044,153		
'17年 1月	24,926	319,931	351,369	671,300	20,781	44,160	253,961	14,440	6,935	3,204	343,481	1,039,707		
2月	26,977	328,542	357,768	686,310	21,288	46,268	259,330	14,777	6,849	3,900	352,412	1,065,699		
3月	29,332	353,245	372,614	725,859	26,471	47,699	269,547	16,784	7,390	5,074	372,965	1,128,156		
4月	r 26,586	r 338,980	r 359,343	r 698,323	r 26,247	r 45,105	r 257,235	r 15,228	r 6,616	r 4,123	r 354,554	r 1,079,463		
5月	25,689	373,073	380,510	753,583	39,142	55,377	256,753	15,347	14,835	9,396	390,850	1,170,122		
6月	28,280	330,291	368,972	699,263	12,455	45,460	254,224	16,145	6,873	4,267	339,424	1,066,967		
前 月 比	110.1	88.5	97.0	92.8	31.8	82.1	99.0	105.2	46.3	45.4	86.8	91.2		
前年同月比	103.3	105.8	104.9	105.3	55.6	103.3	101.6	114.1	65.9	121.3	98.5	103.0		

出所: 経済産業省『鉄鋼需給動態統計調査』から作成。

特殊鋼熱間圧延鋼材の鋼種別メーカー在庫の推移

(単位:t)

年 月	工 具 鋼	構 造 用 鋼			特 殊 用 途 鋼								計	合 計
		機械構造用炭素鋼	構 造 用 合金鋼	計	ばね鋼	軸受鋼	ス レ ス 鋼	快 削 鋼	高 力 抗 張 鋼	そ の 他	計	合 計		
'15 暦 年	8,514	219,348	126,553	345,901	26,641	37,142	126,895	26,973	173,408	26,569	417,628	772,043		
'16 暦 年	6,840	239,158	136,648	375,806	23,596	36,680	122,241	27,149	191,633	26,245	427,544	810,190		
'15 年 度	6,741	212,593	129,143	341,736	25,337	35,403	107,219	24,867	151,569	34,374	378,769	727,246		
'16 年 度	7,525	214,217	129,129	343,346	27,751	31,790	109,641	27,312	185,309	31,761	413,564	764,435		
'16年 10月	8,109	239,292	137,912	377,204	28,416	35,078	115,799	27,310	184,631	30,540	421,774	807,087		
11月	7,385	228,513	136,701	365,214	26,434	33,138	121,877	28,367	151,869	24,103	385,788	758,387		
12月	6,840	239,158	136,648	375,806	23,596	36,680	122,241	27,149	191,633	26,245	427,544	810,190		
'17年 1月	6,808	242,970	141,420	384,390	27,815	33,479	123,177	28,474	161,260	36,480	410,685	801,883		
2月	7,135	235,450	142,803	378,253	28,428	31,698	122,660	31,008	187,722	34,706	426,222	811,610		
3月	7,525	214,217	129,129	343,346	27,751	31,790	109,641	27,312	185,309	31,761	413,564	764,435		
4月	7,434	224,046	130,207	354,253	26,038	33,527	111,499	26,168	199,473	37,309	434,014	795,701		
5月	7,500	231,933	138,662	370,595	27,161	33,792	113,100	30,722	161,894	31,542	398,211	776,306		
6月	6,664	224,542	128,025	352,567	25,856	33,044	104,430	29,104	161,646	30,227	384,307	743,538		
前 月 比	88.9	96.8	92.3	95.1	95.2	97.8	92.3	94.7	99.8	95.8	96.5	95.8		
前年同月比	82.5	98.3	90.2	95.2	88.4	98.4	88.0	97.0	100.7	85.1	94.3	94.6		

出所: 経済産業省『鉄鋼生産内訳月報』から作成。

特殊鋼鋼材の流通在庫の推移 (商社+問屋)

(単位:t)

年 月	工 具 鋼	構 造 用 鋼			特 殊 用 途 鋼								計	合 計
		機械構造用炭素鋼	構 造 用 合金鋼	計	ばね鋼	軸受鋼	ス レ ス 鋼	快 削 鋼	高 力 抗 張 鋼	そ の 他	計	合 計		
'15 暦 年	61,896	202,211	146,758	348,969	13,423	52,972	134,135	11,968	11,624	1,683	225,805	636,670		
'16 暦 年	58,237	187,464	141,858	329,322	14,527	58,916	129,697	11,828	10,737	1,619	227,324	614,883		
'15 年 度	61,699	200,931	139,603	340,534	13,258	53,426	135,679	14,121	11,473	1,763	229,720	631,953		
'16 年 度	57,869	190,684	145,813	336,497	20,955	59,768	141,859	11,460	10,537	2,252	246,831	641,197		
'16年 10月	58,947	190,328	146,710	337,038	14,009	62,515	133,971	13,287	10,427	1,627	235,836	631,821		
11月	58,511	185,720	143,032	328,752	13,075	60,971	131,913	12,718	10,671	1,777	231,125	618,388		
12月	58,237	187,464	141,858	329,322	14,527	58,916	129,697	11,828	10,737	1,619	227,324	614,883		
'17年 1月	59,379	193,670	143,167	336,837	13,980	57,900	130,719	12,960	11,070	1,953	228,582	624,798		
2月	58,504	184,541	147,177	331,718	13,581	58,284	129,812	12,287	10,684	2,143	226,791	617,013		
3月	57,869	190,684	145,813	336,497	20,955	59,768	141,859	11,460	10,537	2,252	246,831	641,197		
4月	r 58,626	r 186,276	r 138,797	r 325,073	r 21,156	r 58,506	r 131,777	r 10,385	10,274	r 2,123	r 234,221	r 617,920		
5月	59,794	202,677	159,205	361,882	21,451	61,208	137,640	12,380	10,351	1,510	244,540	666,216		
6月	59,313	194,686	148,930	343,616	12,995	62,288	138,390	11,609	9,799	2,278	237,359	640,288		
前 月 比	99.2	96.1	93.5	95.0	60.6	101.8	100.5	93.8	94.7	150.9	97.1	96.1		
前年同月比	98.5	95.9	100.0	97.6	108.9	94.7	103.5	81.5	94.8	177.6	100.0	98.6		

出所: 経済産業省『鉄鋼需給動態統計調査』から作成。

特殊鋼鋼材の輸出入推移

輸 出

(単位：t)

年 月	工具鋼	構 造 用 鋼			特 殊 用 途 鋼				そ の 他 の 鋼			特殊鋼 鋼材合計
		機械構造 用炭素鋼	構造用 合金鋼	計	ばね鋼	ステンレス鋼	ピアノ 線 材	計	高炭素鋼	その他 合金鋼	計	
'15 暦 年	57,172	445,437	540,719	986,156	188,707	1,052,226	129,239	1,370,172	11,388	5,291,875	5,303,263	7,716,762
'16 暦 年	43,539	412,511	530,319	942,830	182,238	1,015,301	146,993	1,344,532	10,111	6,088,581	6,098,693	8,429,594
'15 年 度	39,898	415,754	516,291	932,045	186,774	1,009,763	141,761	1,338,299	10,648	5,375,453	5,386,101	7,696,343
'16 年 度	44,566	429,869	558,646	988,515	188,175	1,022,853	137,846	1,348,875	9,298	6,153,677	6,162,974	8,544,929
'16年 9月	2,956	33,816	41,977	75,793	13,508	92,543	12,038	118,089	1,127	548,881	550,008	746,846
10月	3,679	37,046	48,104	85,149	17,747	90,269	10,098	118,114	913	548,009	548,921	755,864
11月	3,417	40,396	41,884	82,280	12,606	78,386	11,405	102,397	620	526,766	527,386	715,480
12月	3,401	39,858	46,312	86,169	15,791	90,869	8,256	114,916	728	505,044	505,773	710,260
'17年 1月	2,921	31,803	37,228	69,030	14,487	72,576	9,026	96,089	547	552,107	552,654	720,694
2月	4,134	38,863	48,797	87,660	15,411	87,763	11,658	114,832	344	472,116	472,460	679,085
3月	3,880	41,015	62,538	103,553	18,135	91,438	12,455	122,028	564	537,062	537,626	767,087
4月	3,989	35,949	51,035	86,983	15,497	83,931	12,251	111,679	527	443,250	443,777	646,427
5月	3,580	34,604	53,757	88,361	14,730	85,441	13,707	113,878	276	502,351	502,627	708,445
6月	3,682	39,859	55,059	94,918	14,359	79,677	10,110	104,146	476	522,857	523,334	726,080
前 月 比	102.9	115.2	102.4	107.4	97.5	93.3	73.8	91.5	172.7	104.1	104.1	102.5
前年同月比	105.5	123.7	120.7	121.9	90.4	94.4	73.8	91.4	54.8	108.3	108.2	106.9

出所：財務省関税局『貿易統計』から作成。

輸 入

(単位：t)

年 月	工具鋼	ばね鋼	ス テ ン レ ス 鋼					計	快削鋼	その他の鋼			特殊鋼 鋼材合計
			形鋼	棒鋼	線材	鋼板類	鋼管			高炭素鋼	合金鋼	計	
'15 暦 年	3,699	4,890	524	13,359	10,752	135,755	13,244	173,634	64	18,660	774,060	792,720	975,009
'16 暦 年	3,441	3,369	666	10,616	11,054	172,316	14,549	209,200	70	16,478	857,976	874,454	1,090,534
'15 年 度	3,663	5,131	566	12,821	10,742	149,710	13,631	187,471	70	17,640	826,552	844,192	1,040,527
'16 年 度	3,179	3,551	643	11,306	11,294	173,146	14,752	211,141	64	15,748	767,618	783,366	1,001,302
'16年 9月	232	352	38	832	884	12,053	1,071	14,878	-	414	72,990	73,403	88,865
10月	231	327	47	1,142	1,131	18,641	1,202	22,164	21	1,079	78,567	79,647	102,389
11月	241	267	56	1,115	754	16,578	1,163	19,666	-	2,398	62,581	64,979	85,153
12月	329	227	127	896	1,007	16,256	1,188	19,474	4	675	81,708	82,383	102,418
'17年 1月	296	351	43	1,182	960	13,001	1,364	16,551	-	1,374	63,852	65,226	82,423
2月	326	228	21	1,086	1,269	16,570	824	19,770	3	491	35,654	36,144	56,471
3月	164	386	103	932	801	17,270	1,474	20,579	9	1,097	40,160	41,257	62,396
4月	326	203	26	978	812	14,700	1,612	18,129	1	769	55,109	55,878	74,536
5月	244	316	35	1,026	924	23,937	1,867	27,789	17	1,226	63,390	64,616	92,982
p 6月	462	414	119	807	1,086	21,815	1,276	25,103	-	1,330	78,103	79,433	105,413
前 月 比	189.7	131.0	340.2	78.7	117.5	91.1	68.4	90.3	-	108.4	123.2	122.9	113.4
前年同月比	258.5	119.2	180.8	102.8	121.5	160.8	81.8	148.8	-	73.2	126.4	124.9	130.1

出所：財務省関税局『貿易統計』から作成。

(注) p:速報値

関連産業指標推移

(単位：台)

(単位：億円)

年 月	四輪自動車生産		四輪完成車輸出		新 車 登 録・ 軽自動車販売		建設機械生産		産業車輛生産		機 械 受注額	産業機械 受注額	工作機械 受注額
		うち トラック		うち トラック		うち トラック	ブル ドーザ	パワー ショベル	フォーク リフト	ショベル トラック			
'15 暦 年	9,278,321	1,309,749	4,578,078	466,776	5,046,510	817,234	-	165,495	115,473	11,447	100,891	54,189	14,806
'16 暦 年	r 9,204,702	r 1,201,073	r 4,634,033	383,959	4,970,258	808,302	-	154,214	109,243	10,437	102,600	56,089	12,500
'15 年 度	9,187,599	1,279,403	4,582,525	447,339	4,937,734	808,174	-	158,900	114,320	11,124	101,838	54,576	13,990
'16 年 度	r 9,357,382	r 1,192,689	r 4,636,390	373,097	5,077,903	818,858	-	159,765	109,887	10,553	102,314	50,944	12,893
'16年 9月	840,990	106,153	435,028	36,131	476,769	78,207	-	14,402	10,497	1,046	8,432	4,849	1,029
10月	781,253	95,104	r 423,467	27,727	378,740	62,917	-	13,656	9,575	1,071	8,721	3,175	939
11月	840,439	100,163	r 422,947	27,828	417,600	74,731	-	13,471	10,059	1,043	8,478	4,372	1,079
12月	781,484	91,370	r 422,819	30,380	397,534	63,386	-	13,312	8,767	816	8,660	7,128	1,119
'17年 1月	761,248	92,992	316,125	23,169	401,650	57,282	-	12,929	8,113	693	8,379	3,391	1,037
2月	850,944	106,030	375,656	31,152	484,725	69,999	-	14,083	8,978	789	8,505	3,222	1,112
3月	929,963	112,344	419,546	38,611	691,374	104,789	-	15,492	10,411	994	8,623	8,226	1,427
4月	r 749,224	r 99,783	371,827	27,432	r 564,747	r 56,328	-	14,351	8,976	878	8,359	2,440	1,337
5月	693,142	90,082	320,255	25,457	372,576	59,338	-	13,365	8,530	1,001	8,055	2,694	1,299
6月	859,580	107,910	425,462	32,520	477,470	79,780	-	16,380	10,599	1,206	7,900	5,044	1,430
前 月 比	124.0	119.8	132.9	127.7	128.2	134.5	-	122.6	124.3	120.5	98.1	187.2	110.1
前年同月比	106.9	95.6	104.3	89.6	113.4	105.7	-	119.6	105.0	131.8	93.4	93.0	131.1

出所：四輪自動車生産、四輪完成車輸出は(一社)日本自動車工業会『自動車統計月報』、

新車登録は(一社)日本自動車販売協会連合会『新車・月別販売台数(登録車)』、

軽自動車販売は(一社)全国軽自動車協会連合会『軽四輪車新車販売確報』、

建設機械生産、産業車輛生産は『経済産業省生産動態統計』、

機械受注額は内閣府『機械受注統計調査』、産業機械受注額は(一社)日本産業機械工業会『産業機械受注状況』、

工作機械受注額は(一社)日本工作機械工業会『受注実績調査』

(注) r:訂正值

特殊鋼需給統計総括表

2 0 1 7 年 6 月 分

鋼種別	月 別		実 数 (t)	前 月 比 (%)	前 年 同 月 比 (%)	2015年基準 指 数 (%)
	項 目					
工 具 鋼	熱 間 圧 延 鋼 材 生 産		23,211	106.6	120.4	112.6
	鋼 材 輸 入 実 績		462	189.7	258.5	149.9
	販 売 業 者	受 入 計	27,799	103.5	102.1	103.0
		販 売 計	28,280	110.1	103.3	107.7
		うち消費者向	20,810	112.1	101.5	110.0
		在 庫 計	59,313	99.2	98.5	100.4
	鋼 材 輸 出 船 積 実 績		3,682	102.9	105.5	77.3
生 産 者 工 場 在 庫		6,664	88.9	82.5	80.4	
総 在 庫		65,977	98.0	96.6	98.0	
構 造 用 鋼	熱 間 圧 延 鋼 材 生 産		765,223	100.1	112.6	111.8
	鋼 材 輸 入 実 績		48,346	110.6	139.9	139.3
	販 売 業 者	受 入 計	680,997	86.2	103.9	104.2
		販 売 計	699,263	92.8	105.3	107.0
		うち消費者向	444,543	101.5	100.8	101.2
		在 庫 計	343,616	95.0	97.6	97.7
	鋼 材 輸 出 船 積 実 績		94,918	107.4	121.9	115.5
生 産 者 工 場 在 庫		352,567	95.1	95.2	100.8	
総 在 庫		696,183	95.0	96.4	99.2	
ば ね 鋼	熱 間 圧 延 鋼 材 生 産		35,625	96.7	103.9	99.1
	鋼 材 輸 入 実 績		414	131.0	119.2	101.7
	販 売 業 者	受 入 計	3,999	10.1	18.9	18.9
		販 売 計	12,455	31.8	55.6	59.3
		うち消費者向	4,952	110.7	110.2	106.5
		在 庫 計	12,995	60.6	108.9	106.5
	鋼 材 輸 出 船 積 実 績		14,359	97.5	90.4	91.3
生 産 者 工 場 在 庫		25,856	95.2	88.4	100.1	
総 在 庫		38,851	79.9	94.4	102.2	
ス テ ン レ ス 鋼	熱 間 圧 延 鋼 材 生 産		208,565	91.8	90.4	90.8
	鋼 材 輸 入 実 績		25,103	90.3	148.8	173.5
	販 売 業 者	受 入 計	254,974	97.1	102.3	101.7
		販 売 計	254,224	99.0	101.6	101.2
		うち消費者向	57,757	97.0	101.1	103.3
		在 庫 計	138,390	100.5	103.5	101.2
	鋼 材 輸 出 船 積 実 績		79,677	93.3	94.4	90.9
生 産 者 工 場 在 庫		104,430	92.3	88.0	90.6	
総 在 庫		242,820	96.8	96.2	96.4	
快 削 鋼	熱 間 圧 延 鋼 材 生 産		58,513	108.0	106.2	114.0
	販 売 業 者	受 入 計	15,374	88.7	115.0	108.7
		販 売 計	16,145	105.2	114.1	112.2
		うち消費者向	14,883	111.5	107.9	106.9
		在 庫 計	11,609	93.8	81.5	85.8
	生 産 者 工 場 在 庫		29,104	94.7	97.0	104.9
	総 在 庫		40,713	94.5	92.0	98.6
高 抗 張 力 鋼	熱 間 圧 延 鋼 材 生 産		453,780	97.5	111.1	109.9
	販 売 業 者	受 入 計	6,321	42.4	62.7	61.5
		販 売 計	6,873	46.3	65.9	67.6
		うち消費者向	4,999	121.2	61.5	74.6
		在 庫 計	9,799	94.7	94.8	89.4
	生 産 者 工 場 在 庫		161,646	99.8	100.7	85.2
	総 在 庫		171,445	99.5	100.3	85.5
そ の 他	熱 間 圧 延 鋼 材 生 産		135,305	100.1	95.9	97.8
	販 売 業 者	受 入 計	51,575	77.1	110.0	127.3
		販 売 計	49,727	76.8	104.7	122.7
		うち消費者向	36,143	103.4	109.7	98.4
		在 庫 計	64,566	102.9	96.3	121.5
	生 産 者 工 場 在 庫		63,271	96.8	91.6	91.5
	総 在 庫		127,837	99.8	93.9	104.5
特 殊 鋼 鋼 材 合 計	熱 間 圧 延 鋼 材 生 産 合 計		1,680,222	98.6	107.1	106.8
	鋼 材 輸 入 実 績 計		105,413	113.4	130.1	129.7
	販 売 業 者	受 入 計	1,041,039	85.4	101.7	102.3
		販 売 計	1,066,967	91.2	103.0	104.9
		うち消費者向	584,087	101.9	101.1	101.4
		在 庫 計	640,288	96.1	98.6	100.4
	鋼 材 輸 出 船 積 実 績 計		726,080	102.5	106.9	112.9
生 産 者 工 場 在 庫		743,538	95.8	94.6	94.6	
総 在 庫		1,383,826	95.9	96.4	97.2	

出所: 鋼材輸入実績及び鋼材輸出船積実績は財務省関税局『貿易統計』、

それ以外は経済産業省『経済産業省生産動態統計』、『鉄鋼生産内訳月報』、但し総在庫は特殊鋼倶楽部で計算

- (注) 1.鋼材輸入実績は速報値を掲載。構造用鋼の鋼材輸入実績とは高炭素鋼の棒鋼及び合金鋼の棒鋼、線材を加算したもの。
2.総在庫とは販売業者在庫に生産者工場在庫を加算したもの。生産者工場在庫は熱間圧延鋼材のみで、冷間圧延鋼材及び鋼管を含まない。また、工場以外の置場にあるものは、生産者所有品であってもこれを含まない。

倶楽部だより

(平成29年6月1日～7月31日)

海外委員会

専門部会（7月12日）

- ①「インド特殊鋼需給動向」調査企画書について
- ②個別通商問題について
- ③その他

説明会（7月6日）

演 題：「安全保障貿易管理」（日本鉄鋼連盟、ステンレス協会と共催）

講 師：経済産業省安全保障貿易審査課 上席
安全保障貿易審査官 寺内 純子 氏
経済産業省安全保障貿易審査官室
安全保障貿易管理検査等職員
佐藤 長光 氏

参加者：93名

説明会（7月19日）

演 題：「欧米の特殊鋼需給動向調査」報告
書解説

講 師：神鋼リサーチ(株) 産業戦略情報本部
調査二部 チーフアナリスト
野尻 英一 氏

参加者：46名

市場開拓調査委員会

委員会（6月8日）

- ①平成28年度活動報告
- ②平成29年度活動計画の検討
- ③その他

説明会（6月13日）

演 題：「特殊鋼業界及び関係他業界等におけるBCP対応に関する調査報告書」の解説

講 師：産業戦略情報本部 調査二部 上席主任
研究員 河田 和久 氏

参加者：24名

説明会（7月11日）

演 題：「自動車産業をめぐる最近のトピックス」

講 師：(一社)日本自動車工業会
調査・電子情報システム室 室長

持田 弘喜 氏

参加者：60名

編集委員会

小委員会（6月28日）

11月号特集「軸受」（仮題）の編集内容の検討

委員会（7月14日）

- ①11月号特集「軸受」（仮題）の編集方針、内容の確認
- ②平成30年5月号以降の特集テーマ確認及び9月号の特集テーマ選定について

流通委員会

委員会（7月5日）

- ①「金属産業取引適正化ガイドライン」説明会開催のためのヒアリング結果及び経産省への説明依頼内容について
- ②鋼種別分科会委員登録状況について
- ③構造用鋼分科会アンケート結果について

構造用鋼分科会幹事会

（7月5日）

- ①『特殊鋼の紐付き取引・内示問題アンケート』集計結果について
- ②今後の対応について

（7月26日）

「特殊鋼の紐付き取引において、『ユーザーからの内示によるメーカーへ確定発注慣習』『量産から補給品になり数量激減となった場合の流通の立ち位置』に関するアンケート集計結果」について

説明会（7月4日）

演 題：「平成29年度第2・四半期の特殊鋼需要見通し」

講 師：経済産業省製造産業局金属課課長補佐
岡田 治 氏

参加者：29名

[大阪支部]

定時総会（6月16日）

- ①平成28年度事業・収支報告
- ②平成29年度事業計画（案）・収支予算（案）・
役員人事他承認

説明会（6月19日）

演 題：「特殊鋼業界及び関係他業界等におけるBCP対応に関する調査報告書」の解説
 講 師：神鋼リサーチ(株) 産業戦略情報本部
 上席主任研究員 河田 和久 氏
 参加者：36名

三団体共催講演会（7月13日）

演 題：自動車産業をめぐる最近のトピックス
 講 師：（一社）日本自動車工業会
 調査・電子情報システム室 室長
 持田 弘喜 氏
 参加者：78名

[名古屋支部]

定時総会（6月8日）

- ①平成28年度事業並びに決算報告承認
- ②監査報告
- ③平成29年度事業計画並びに収支予算案承認

- ④平成29年度役員及び運営委員の承認
・講演会

演題：歴史に学ぶ人材活用

講師：静岡大学名誉教授 小和田 哲男 氏

部会

工具鋼部会（7月19日）

構造用鋼部会（7月21日）

ステンレス鋼部会（7月25日）

三団体共催講演会（7月14日）

演 題：自動車産業をめぐる最近のトピックス

講 師：（一社）日本自動車工業会
 調査・電子情報システム室 室長
 持田 弘喜 氏

参加者：83名

説明会（6月20日）

演 題：「特殊鋼業界及び関係他業界等におけるBCP対応に関する調査報告書」の解説

講 師：神鋼リサーチ(株) 産業戦略情報本部
 部長 北浦 信幸 氏

参加者：37名



特殊鋼倶楽部の動き

「特殊鋼業界及び関係他業界等におけるBCP対応に関する調査報告書」 の説明会開催

当倶楽部・市場開拓調査委員会の平成28年度調査事業として実施した調査の報告書説明会を下記の通り開催し、本調査を担当された河田講師の詳細かつ分かり易い説明で、盛会の内に終了いたしました。

当日、説明会に参加された方々にはアンケートを実施し、お聞かせいただいた貴重なご意見は今後の説明会に是非とも反映させたいと思います。多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

なお、当日資料は、特殊鋼倶楽部ホームページ・会員専用ページ・イベントに掲載しています。

日 時 平成29年 6月13日（火） 13時30分～15時00分 参加者24名

場 所 東京都中央区日本橋茅場町「鉄鋼会館」701号室

講 師 神鋼リサーチ（株） 産業戦略情報本部 調査二部 上席主任研究員 河田和久氏

内 容 1. 特殊鋼業界におけるBCP検討・策定の実態と課題の調査結果

（特殊鋼倶楽部の会員企業へのアンケート調査結果の解析）

2. 関係他業界におけるBCP検討・策定実態調査結果

（公開情報や聞き取りのよる他業界内でのBCP対応状況調査結果の報告）

3. 政府及び地方自治体におけるBCP策定・運用への支援等の実態調査結果

他開催 大 阪会場：6月19日（月）「鉄鋼会館」5・6会議室 参加者36名

名古屋会場：6月20日（火）「ウインクあいち」1104会議室 参加者37名

以下に、会場写真を掲載いたします。



【会場の様子（東京・鉄鋼会館）】

「安全保障貿易管理」説明会開催

一般社団法人特殊鋼倶楽部、一般社団法人日本鉄鋼連盟及びステンレス協会との三団体共催で昨年引き続き「安全保障貿易管理」説明会を開催しました。経済産業省の2名の講師の方による詳細かつ分かり易い説明で、盛会の内に終了いたしました。

当日、説明会に参加された方々にはアンケートを実施し、お聞かせいただいた貴重なご意見は今後の説明会に是非とも反映させたいと思います。多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

日 時 平成29年7月6日（木） 13時30分～16時00分 参加者93名

場 所 東京都中央区日本橋茅場町「鉄鋼会館」701号室

講 師 経済産業省 貿易管理部 安全保障貿易審査課 上席安全保障貿易審査官 寺内純子氏
安全保障貿易審査官室 安全保障貿易管理検査等職員 佐藤長光氏

内 容 1. 「安全保障貿易管理」について

- ①安全保障貿易管理の必要性
- ②国際的な脅威と国際輸出管理レジームの概要
- ③我が国の安全保障貿易管理制度
- ④違反に対する罰則等

2. 「法令遵守のポイント」について

- ①輸出管理の審査手続き
- ②法令遵守のための内部規程の整備
- ③包括許可制度と立入検査
- ④関連情報の入手

その他 説明会資料の入手先及び問合せ先は下記の通りです。

経済産業省 安全保障貿易管理ホームページ

<http://www.met.go.jp/policy/anpo/index.html>

電話：03-3501-3679（安全保障貿易 案内窓口）

以下に、会場写真を掲載いたします。



定例講演会「自動車産業をめぐる最近のトピックス」の開催

去る7月11日（火）15時より東京都中央区日本橋茅場町・鉄鋼会館701号室において定例講演会「自動車産業をめぐる最近のトピックス」を開催しました。

本説明会は当倶楽部・市場開拓調査委員会の2017年度事業として実施し、講師として一般社団法人 日本自動車工業会 調査・電子情報システム室 室長 持田 弘喜 氏をお招きしお話を伺いました。

説明の内容は、「Ⅰ. 国内販売、生産、輸出、海外生産の状況」、「Ⅱ. 主要国市場の動向」、「Ⅲ. 中国の新エネルギー車市場」、「Ⅳ. 日EU経済連携協定」、「Ⅴ. 安全への取組み」、「Ⅵ. 東京モーターショウ」、「(参考) 2016年度決算」でした。

持田氏の詳細かつ分かり易いご説明で約1時間30分程の説明会でしたが、参加された約60名の皆さんは、最後まで熱心に講師の話に耳を傾け、盛会の内に終わることが出来ました。

また、同講演会は、大阪7月13日・大阪鉄鋼会館、名古屋7月14日安保ホールにて開催しました。なお、当日資料は、会員専用ページの会員専用イベントに掲載しています。以下に会場の写真を掲載します。



【会場の様子（東京・鉄鋼会館）】

「欧米の特殊鋼需給動向調査報告書」の説明会開催

当倶楽部・海外委員会の平成28年度調査事業として実施した調査の報告書説明会を下記の通り開催しました。

我が国特殊鋼業界と同じく高度な特殊鋼製造技術や経験を有する「欧米の特殊鋼需給動向」について、本調査を担当された野尻講師の詳細かつ分かり易い説明で、盛会の内に終了いたしました。

当日、説明会に参加された方々にはアンケートを実施し、お聞かせいただいた貴重なご意見は今後の説明会に是非とも反映させたいと思います。多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

なお、当日資料は、特殊鋼倶楽部ホームページ・会員専用ページ・イベントに掲載しています。

日 時 平成29年 7月19日（水） 13時30分～15時00分 参加者46名

場 所 東京都中央区日本橋茅場町「鉄鋼会館」811号室

講 師 神鋼リサーチ（株） 産業戦略情報本部 調査二部 チーフアナリスト 野尻英一氏

- 内 容
1. 世界経済の構造変化
 - ・世界経済と鉄鋼産業の動き
 - ・日本経済の相対的な地位の低下
 2. 欧米の特殊鋼産業をめぐる状況
 - ・近年の経済指標、今後の経済成長見通し
 - ・需要産業の指標、規模
 - ・輸出入の状況
 - ・近年の需給状況
 - ・将来に向けた問題意識
 3. 欧米の鉄鋼産業、特殊鋼産業
 - ・産業の特徴
 - ・業界再編、企業統合の経緯
 - ・主要な特殊鋼メーカー
 4. 需要分野ごとのトピックス
 - ・自動車、風力発電、宇宙航空

以下に、会場写真を掲載いたします。





【会場の様子（東京・鉄鋼会館）】



一般社団法人特殊鋼倶楽部 会員会社一覧

(社名は50音順)

【会 員 数】 (正 会 員) 製造業者 24社 販売業者 100社 合 計 124社	【販売業者会員】		
【製造業者会員】			
愛 知 製 鋼 (株) 秋 山 精 鋼 (株) (株) 川 口 金 属 加 工 (株) 神 戸 製 鋼 所 合 同 製 鐵 (株) 山 陽 特 殊 製 鋼 (株) J F E ス チ ー ル (株) J X 金 属 (株) 下 村 特 殊 精 工 (株) 新 日 鐵 住 金 (株) 新 日 鐵 住 金 ス テ ン レ ス (株) 大 同 特 殊 鋼 (株) 高 砂 鐵 工 (株) 東 北 特 殊 鋼 (株) 日 新 製 鋼 (株) 日 本 金 属 (株) 日 本 高 周 波 鋼 業 (株) 日 本 精 線 (株) 日 本 冶 金 工 業 (株) 日 立 金 属 (株) (株) 不 二 越 三 菱 製 鋼 (株) ヤ マ シ ン ス チ ー ル (株) 理 研 製 鋼 (株)	愛 鋼 (株) 青 山 特 殊 鋼 (株) 浅 井 産 業 (株) 東 金 属 (株) 新 井 ハ ガ ネ (株) 栗 井 鋼 商 事 (株) 伊 藤 忠 丸 紅 鉄 鋼 (株) 伊 藤 忠 丸 紅 特 殊 鋼 (株) 井 上 特 殊 鋼 (株) (株) U E X 碓 井 鋼 材 (株) ウ メ ト ク (株) 扇 鋼 材 (株) 岡 谷 鋼 機 (株) カ ネ ヒ ラ 鉄 鋼 (株) 兼 松 (株) 兼 松 ト レ ー デ ィ ン グ (株) (株) カ ム ス (株) カ ワ イ ス チ ー ル 川 本 鋼 材 (株) 北 島 鋼 材 (株) ク マ ガ イ 特 殊 鋼 (株) ケ ー ・ ア ン ド ・ アイ 特 殊 管 販 売 (株) 小 山 鋼 材 (株) 佐 久 間 特 殊 鋼 (株) 櫻 井 鋼 鐵 (株) 佐 藤 商 事 (株) サ ハ シ 特 殊 鋼 (株) (株) 三 悦 三 協 鋼 鐵 (株) 三 京 物 産 (株) 三 興 鋼 材 (株) 三 和 特 殊 鋼 (株) J F E 商 事 (株) 芝 本 産 業 (株) 清 水 金 属 (株) 清 水 鋼 鐵 (株) 神 鋼 商 事 (株) 住 友 商 事 (株)		(株) 大 同 興 業 (株) 大 同 D M ソ リ ュ ー シ ョ ン (株) 大 洋 商 事 (株) 大 和 興 業 (株) 大 和 特 殊 鋼 (株) (株) 竹 内 ハ ガ ネ 商 行 孟 鋼 鉄 (株) 田 島 ス チ ー ル (株) 辰 巳 屋 興 業 (株) 千 曲 鋼 材 (株) (株) テ ク ノ タ ジ マ (株) 鐵 鋼 社 デ ル タ ス テ ー ル (株) 東 京 貿 易 マ テ リ ア ル (株) (株) 東 信 鋼 鉄 特 殊 鋼 機 (株) 豊 田 通 商 (株) 中 川 特 殊 鋼 (株) 中 野 ハ ガ ネ (株) 永 田 鋼 材 (株) 名 古 屋 特 殊 鋼 (株) ナ ス 物 産 (株) 南 海 鋼 材 (株) 日 金 ス チ ー ル (株) 日 鉄 住 金 物 産 (株) 日 鉄 住 金 物 産 特 殊 鋼 西 日 本 (株) 日 本 金 型 材 (株) ノ ボ ル 鋼 鉄 (株) 野 村 鋼 機 (株) 白 鷺 特 殊 鋼 (株) 橋 本 鋼 (株) (株) 長 谷 川 ハ ガ ネ 店 (株) ハ ヤ カ ワ カ ン パ ニ ー 林 田 特 殊 鋼 材 (株) 阪 神 特 殊 鋼 (株) 阪 和 興 業 (株) 日 立 金 属 商 事 (株) 日 立 金 属 工 具 鋼 (株) (株) 日 立 ハ イ テ ク ノ ロ ギ ー
			(株) 平 井 (株) フ ク オ カ 藤 田 商 事 (株) 古 池 鋼 業 (株) (株) プ ル ー タ ス (株) 堀 田 ハ ガ ネ (株) マ ク シ ス コ ー ポ レ ー シ ョ ン 松 井 鋼 材 (株) 三 沢 興 産 (株) 三 井 物 産 (株) 三 井 物 産 ス チ ー ル (株) (株) メ タ ル ワ ン (株) メ タ ル ワ ン チ ュ ー プ ラ ー (株) メ タ ル ワ ン 特 殊 鋼 森 寅 鋼 業 (株) (株) 山 一 ハ ガ ネ 山 進 産 業 (株) ヤ マ ト 特 殊 鋼 (株) 山 野 鋼 材 (株) 陽 鋼 物 産 (株) 菱 光 特 殊 鋼 (株) 渡 辺 ハ ガ ネ (株)

“特集” 編集後記

本号では、1996年1月号「会員販売業者の現状」、2016年1月号「特殊鋼メーカー・流通のグローバル展開」に引き続き、流通に関わる会員の紹介記事の特集しました。流通業者は、①メーカーおよび問屋に代わっての在庫保管機能、②回収面での立て替え機能、③販売先に対するリスク負担、④情報提供機能、⑤景気変動時における需給緩衝機能を果たす等、物流に対する大変重要な役割を担っています（参考：（株）鉄鋼新聞社発行、新訂特殊鋼の知識、1994.）。本号では、「特殊鋼の物流」に焦点を絞り、特殊鋼メーカーから最終需要家に鋼材を供給する役割を担う流通業者の機能を読者に提供、理解してもらうことを目的としています。会員流通各社にはホームページで紹介されているような一般的な企業情報に加え、取扱商品、取引メーカー、加工業務（付帯サービス）、主な特色などを書き加えていただき、一目で各会員

流通各社の特徴が把握できるようにまとめることができました。特殊鋼はその使われ方が多岐に渡るだけでなく様々な特性が要求されます。鋼材が手に入ってもそこから先、特殊な加工や熱処理が必要な場合が多く、最適な状態で使用するため、その間をつなぐ会員流通各社がそれぞれの特長をもって役割を担うこととなります。本紙が、特殊鋼を扱う各種ユーザーにおいて、特殊鋼流通企業一覧として手元に置いておく便利なハンドブックとなれば幸いです。

最後になりましたが、本特殊号にご寄稿・ご協力いただきました執筆者の皆様、編集委員の皆様および事務局の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

〔（株）神戸製鋼所 鉄鋼事業部門 ますだ ともかず
線材条鋼商品技術部 増田 智一〕

特 集／軸受および軸受用鋼の動向

- I. 総論
- II. 最近の軸受の動向とユーザーニーズ
- III. 最近の軸受製造技術動向
- IV. 流通からみた軸受用鋼
- V. 最近の軸受用鋼の動向
- VI. 会員メーカーの軸受用鋼

1月号特集予定…IoT社会を支える特殊鋼

特 殊 鋼

第 66 巻 第 5 号
 ©2017 年 9 月
 平成29年8月25日 印 刷
 平成29年9月1日 発 行

定 価 1,230円 送 料 100円
 1年 国内7,300円（送料共）

発 行 所
 一般社団法人 特 殊 鋼 倶 楽 部
 Special Steel Association of Japan

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号 鉄鋼会館
 電 話 03(3669)2081・2082
 ホームページURL <http://www.tokushuko.or.jp>

編集発行人 小 澤 純 夫
 印 刷 人 増 田 達 朗
 印 刷 所 レタープレス株式会社

本誌に掲載されたすべての内容は、一般社団法人 特殊鋼倶楽部の許可なく転載・複写することはできません。